

平成22年度

かながわ文化芸術振興計画 年次報告

平成24年3月

目 次

I 基本的な施策の実施状況

1 県民の文化芸術活動の充実

(1) 県民の文化芸術活動の充実	1
(2) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用	7
(3) 芸術家等の育成等に関する支援等	9
(4) 文化芸術団体の育成等	11
(5) 子どもの文化芸術活動の充実	12
(6) 学校教育における文化芸術活動の充実	14
(7) 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実	16

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

(1) 文化芸術に関する交流の推進	18
(2) 創造的活動等の推進	20
(3) 文化資源の活用	21
(4) 景観の形成	22

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

(1) 学校施設、公共的施設の活用等	24
(2) 県立文化施設の充実	24
(3) 情報通信技術の活用	26
(4) 文化芸術活動に対する支援の促進	28
(5) 顕彰の実施	28

II 進行管理のための参考指標

・ 県立文化施設利用者数	29
・ 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度(地域別)	30
・ 県立文化施設の利用率(県民ホール・音楽堂・かながわアートホール)	31
・ 過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合	36

III 年次報告のまとめ(文化芸術振興審議会意見)

38

かながわ文化芸術振興計画年次報告について

かながわ文化芸術振興計画は、平成 21-25 年度の 5 か年間に取り組む基本的な施策を掲げています。この年次報告は、それぞれの施策について、その主な取組み状況についてまとめるとともに、計画の進行管理に当たっての参考指標を掲げており、これらについて県文化芸術振興審議会から意見を得ながら、計画の進行管理を行うものです。

「Ⅰ 基本的な施策の実施状況」においては、各事業の開催回数や参加人数などの経年比較に加え、アンケートで示された事業参加者の満足度のほか寄せられた意見を記載しています。

「Ⅱ 進行管理のための参考指標」については、施設の利用者数、利用率など量的なもの、文化芸術に関する県民の意識など質的なのものの両面を取り上げ、データの経年比較を行っています。

I 基本的な施策の実施状況

1 県民の文化芸術活動の充実

(1) 県民の文化芸術活動の充実

① 文化芸術に対する関心、理解を深めるための普及啓発

文化芸術に対する関心や理解を深めるために、県立文化施設での文化芸術に関する講座・講演会等の開催や、広報誌やホームページなどで文化芸術に関する情報提供を行いました。

平成 22 年度は、講座・講演会を合計 327 回開催し、あわせて 27,115 名の参加がありました。平成 21 年度と比較すると、開催回数(410 回)は 20.2%減少しましたが、参加者数(20,370 名)は 33.1%増加しました。

文化芸術に関する公演等の情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川県総合文化芸術情報誌)を前年度と同じく年 6 回発行しました。また、県内の公演や展覧会等の情報をホームページで発信する「かな@ (アット)」を運営しました。

① 県立文化施設での文化芸術に関する講座、講演会等の開催

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県民ホール 本館	文化芸術に対する知識や教養を高めるため、舞台芸術講座、パイプオルガン・プロムナード・コンサート、季節の風とティータムコンサート、公演プレトークなどを実施した。	14	3,356	16	4,080	14.2	21.5
芸術劇場 神奈川	舞台芸術に対する知識や理解力を高め、オープントーク、KAAT 舞台芸術講座、ワークショップなどを実施した。	-	-	12	330	-	-
音楽堂	演奏や演目の理解を深めるため、レクチャーコンサートなどを実施した。	1	480	1	972	0	102.5

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
アートホール かながわ	音楽を気軽に楽しんでいただくため、テーマを設定し解説をつけたカジュアルコンサートやCDコンサートを実施した。	16	858	14	698	△12.5	△18.6
美術館 近代	近代美術に対する知識や教養を高めるため、ギャラリートーク、講演、ワークショップなどを実施した。	54	2,047	-	-	-	-
近代文学館 神奈川	近代文学に対する知識や教養を高めるため、ギャラリートーク、講演会、朗読会、講座、映画会などを実施した。	60	6,720	56	6,082	△6.6	△9.4
金沢文庫	県民の学習意欲や時代のニーズに応える特別講演会、夏期・冬期講座、連続講座、子ども向け講座などを実施した。	16	1,841	29	3,705	81.2	101.2
博物館 歴史	文化芸術に対する関心や知識を高めるため、展示解説、ミュージアムトーク、講演会などを実施した。	26	1,399	21	1,025	△19.2	△26.7
図書館 県立	文化芸術に関する理解を深めるため、レコード鑑賞会、名作映画会、県民公開講座などを実施した。	62	1,290	31	1,048	△50.0	△18.7
図書館 川崎	科学技術における文化芸術の知識や教養を高めるため、映画上映会、映画監督のトークイベントを実施した。	161	2,379	147	9,175	△8.6	287.5

②広報誌、ホームページによる普及啓発の実施 (4)にも掲載)

事業内容	H21	H22	増減(%)
	発行回数	発行回数	発行回数
文化芸術に関する公演、催し、講座等の紹介や各種公演等の主要な出演者や演出家の紹介記事等を掲載する情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川総合文化芸術情報誌)を発行した。	6	6	0
各種公演や展覧会等の情報や文化芸術に関する関心、理解を深めるために役立つホームページ「かな@(アット)」を運営した。			

2 鑑賞機会の充実

県立文化施設での講演、展覧会などの鑑賞機会の提供や優れた文化芸術の鑑賞機会を提供する文化芸術団体への支援により、県民の鑑賞機会の充実を図りました。

平成23年1月11日に、舞台芸術専用の劇場である神奈川芸術劇場<KAAT>が開館し、県民ホール本館との一体運営により、本県の文化芸術の広域拠点機能を果たす役割を担っていきます。KAATは、モノ・人・まち、の3つの「つくる」を満たす創造型

劇場として、舞台芸術作品の鑑賞機会の充実を図りました。

平成 22 年度は、公演や展覧会、コンサートなどの鑑賞を合計 289 回実施し、あわせて 384,068 人の入場者数がありました。平成 21 年度と比較すると、実施回数(220 回)は 31.3%増加し、入場者数(353,924 人)は 8.5%増加しました。

① 神奈川芸術劇場の整備 (18)にも掲載)

<開館記念式典>

事業名	分野	列席者数
神奈川芸術劇場開館記念式典 (式典及び能楽「翁」の上演) 1月11日(火)	式典	797

<オープニングラインナップ一覧>

	公演名/公演日	分野	入場者数
ホール	金閣寺 1月29日(土)~2月14日(月)	演劇	17,452
	春風亭小朝独演会 3月12日(土)~3月13日(日) ※東日本大震災の影響により3月13日の1公演のみ	古典芸能	670
	杉本文楽 木偶坊入情 曾根崎心中付り観音廻り 3月23日(水)~3月27日(日) ※東日本大震災の影響により全公演中止	古典芸能	-
大スタジオ	浮漂(ぶい) 1月17日(月)~1月23日(日)	演劇	1,590
	ゾウガメのソニックライフ 2月2日(水)~2月15日(火)	演劇	2,812
	Kappa/或小説 3月11日(金)~3月21日(月・祝) ※東日本大震災の影響により3月13日の1公演のみ	演劇	70
	はなれ替女(ごぜ) おりん[人形劇] 3月25日(金)~3月27日(日) ※東日本大震災の影響により全公演中止	演劇	-

② 県立文化施設での公演事業の実施

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県民ホール 本館	質の高い文化芸術の鑑賞機会を充実するため、オペラ、バレエ・舞踊、オーケストラコンサート、演劇、展覧会などを実施した。	94	79,231	80	60,579	△14.8	△23.5
芸術劇場 神奈川	舞台芸術専用の劇場で身近に舞台芸術を鑑賞できる機会の充実を図るため、演劇、古典芸能、舞踊、パフォーマンス、ワークショップなどを実施した。	-	-	74	28,112	-	-
音楽堂	質の高い文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実を図るため、オーケストラコンサート、合唱、舞踊、邦楽などを実施した。	47	32,938	56	34,939	19.1	6.0

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
ア ナ ガ ワ ホ ー ル	文化芸術に身近に触れる機会の充実を図るため、オーケストラコンサート、CDコンサート、キッズコンサートなどを実施した。	16	858	21	1,707	31.2	98.9

③ 県立近代美術館での美術作品の展覧会の開催

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
葉山館	優れた近代美術を鑑賞する機会を提供し、近代美術に対する知識及び教養の向上を図るための展覧会を開催した。	5	39,430	5	45,119	0	14.4
鎌倉館	同上	5	39,430	5	28,230	0	△28.4
別鎌倉館	同上	4	17,440	4	11,190	0	△35.8

④ 県立博物館での文化芸術に関する資料等の展示、展覧会の開催 (6にも掲載)

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
博 物 館 歴 史 館	文化芸術に関する資料等の展示や特別展を実施した。	4	50,805	3	21,364	△25.0	△57.9
文 庫 沢	学習意欲や時代のニーズに合った分かりやすい展覧会、企画展を開催した。	7	43,226	7	90,014	0	108.2

⑤ 県立神奈川近代文学館での文学資料に関する展示、展覧会の開催

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県立神奈川近代文学館	県にゆかりのある近代文学に関する文学資料を展示する、特別展、企画展、収蔵コレクション展などを開催した。	10	18,047	8	32,362	△20.0	79.3

⑥ 文化芸術団体との連携による鑑賞機会の提供

施設名	主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	人数	実施数	人数	実施数	人数
(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団	県民の音楽鑑賞機会の充実を図るため、定期演奏会、特別演奏会などの演奏会を実施した。	28	32,519	26	30,452	△7.1	△6.3

3 県民の文化芸術活動や発表機会の支援

県民が文化芸術活動（創作・練習・稽古・発表等）を行う際に利用できる文化施設を整備し、運営するとともに、県民が参加できる展覧会やコンクールなどの開催により、県民自らが行う文化芸術活動を支援しました。

平成 22 年度は、主に発表会やコンクールに利用されている音楽堂の利用が 131,203 人で、主に練習や発表会に利用されているかながわアートホールの利用が 40,770 人でした。平成 21 年度と比較すると、音楽堂の利用人数（116,832 人）は 12.3%増加し、アートホールの利用者数（39,628 人）は 2.8%増加しました。

平成 22 年度の県美術展は、応募数 1,578 点で入場者数は 6,763 人でした。平成 21 年度と比較すると、応募数（1,711 点）は 7.7%減少し、入場者数（7,897 人）は 14.3%減少しました。

補助金や助成金の交付、共催等の支援については、助成金の交付件数が前年度より 1 件減少し、共催等の支援は前年度と同じでした。

アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援については、コンテストなどを開催し、平成 22 年度の参加数は 134 組で入場者数は 704 人でした。平成 21 年度と比較すると、東日本大震災の影響により中止となった事業があることから参加数（144 組）は 6.9%減少し、入場者数（2,490 人）は 71.7%減少しました。

① 県立文化施設での練習・発表等の活動の場の提供 (8 21にも掲載)

<音楽堂>

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
音楽活動の場の充実を図るため、オーケストラや合唱、吹奏楽などの発表会やコンクールを実施した。	116,832	131,203	12.3

<かながわアートホール>

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
個人の音楽活動の練習や発表の場として、オーケストラ、室内楽、器楽、舞踊、邦楽、演劇、講演などを実施した。	39,628	40,770	2.8

② 県美術展の開催 (9にも掲載)

内容	H21			H22			増減(%)		
	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者
県内の作家に作品発表の機会を提供し、その創作意欲を助長するため、第1期展・第2期展(県民ホール)、厚木巡回展を実施した。	1,711	461	7,897	1,578	477	6,763	△7.7	3.4	△14.3

③ 文化芸術団体の創作・発表等の活動への助成等による支援 (5 10にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	補助数	助成数	補助数	助成数	補助数	助成数
文化芸術団体が行う、公演、展示、コンクール、ワークショップ、交流事業に対する補助金、助成金の支援を実施した。	11	29	11	28	0	△3.4

④ 伝統芸能、舞台芸術作品等の公演などへの共催等による支援

主な事業ジャンル	H21	H22	増減(%)
	事業数	事業数	事業数
本県の伝統文化の普及継承の機運を醸成し、優れた舞台芸術に触れる機会を充実するため、歌舞伎、人形瑠璃、地芝居、民俗芸能、相模人形芝居、能・狂言の公演を支援した。	13	13	0

⑤ アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援 (9)にも掲載

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	参加数	入場者数	参加数	入場者数	参加数	入場者数
・Yokohama H000D!! ・カナガワミュージックサミット* ほか *H22 は東日本大震災の影響により中止	144 組	2,490	134 組	704	△6.9	△71.7

4 文化芸術活動に対する情報の提供

文化芸術の鑑賞や活動を行う際に必要な、文化芸術の催しや文化芸術団体の活動情報などを定期的な広報誌やホームページなどで提供しました。

文化芸術に関する公演等の情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川総合文化芸術情報誌)を前年度と同じく年 6 回発行しました。また、県内の公演や展覧会、観光情報等の情報をホームページで発信しました。

① 文化芸術に関する広報誌の発行 (1)にも掲載

事業内容	H21	H22	増減(%)
	発行回数	発行回数	発行回数
文化芸術に関する公演、催し、講座等の紹介や各種公演等の主要な出演者や演出家の紹介記事等を掲載する情報誌「KANAGAWA ARTS PRESS」(神奈川総合文化芸術情報誌)を発行した。	6	6	0
各種公演や展覧会等の情報や文化芸術に関する関心、理解を深めるために役立つホームページ「かな@(アット)」を運営した。			

② ホームページによる公演情報、文化芸術活動のための情報の提供 (19) (24)にも掲載

事業内容	H21	H22	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
イベントなどの県内観光情報ホームページの運営	8,719,691	8,180,000	△6.1
イベントなどの県内観光情報をメールマガジンで配信	30,600	28,200	△7.8

(2) 地域の伝統的な文化芸術の保存、継承、活用

⑤ 伝統芸能の普及啓発、鑑賞・発表機会の提供

地域の伝統芸能の大切さについての理解、認識を深めるため、人形浄瑠璃文楽などの公演を開催するとともに、日本舞踊で学ぶ和の作法などの青少年向け伝統芸能ワークショップを開催し、人材の育成を図りました。

平成22年度は、ワークショップや公演、鑑賞教室やフェスティバルなどを合計34回実施し、あわせて8,278人の参加者数がありました。平成21年度と比較すると、実施回数(35回)は2.8%減少し、入場者数(9,392人)は11.8%減少しました。

① 伝統芸能にかかわるワークショップの実施 (12にも掲載)

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
<ul style="list-style-type: none"> 相模人形芝居学校交流ワークショップ 日本舞踊に学ぶ和の作法 長唄三味線にトライ! 	11	1,385	12	959	9.0	△30.7

② 県立文化施設等での伝統芸能にかかわる公演の実施、発表機会の確保

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
<ul style="list-style-type: none"> 人形浄瑠璃文楽 神奈川の地芝居フェスティバル かながわ民俗芸能大会 相模人形芝居普及巡回公演 かながわの太鼓 	5	3,623	5	3,229	0	△10.8

③ 能・狂言等鑑賞教室の開催 (12, 13にも掲載)

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
<ul style="list-style-type: none"> 能・狂言教室 歌舞伎鑑賞教室 	7	3,775	5	3,582	△28.5	△5.1

④ 文化芸術団体への支援や連携による発表機会の確保 (3, 10にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	団体数	実施数	団体数	実施数	入場者数
文化芸術団体が行う、公演、展示、コンクール、ワークショップ、交流事業に対する補助金、助成金の支援を実施した。	11	29	11	28	0	△3.4

⑤ 子どもを対象とした民俗芸能フェスティバルの開催 (12にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
かながわこども民俗芸能フェスティバル(れとろびーと2010)	1	580	1	480	0	△17.2

6 文化財保護の充実等

文化財の適切な保存活用を図るため、実態把握の調査や試掘調査などを行い基礎的データの収集とともに、文化財の保存・保護を図るため管理者や所有者が行う指定文化財の管理や修理等に要する経費の補助金等を交付しました。また、活用・保護の普及啓発のため、「文化財保護ポスター」を公募し最優秀作品をポスター化し関係施設等に配布しました。

平成 22 年度については、文化財調査数が 236 件で前年度 (339 件) より 30.3%減少し、試掘構は 77 件で前年度 (28 件) より 175.0%増加しました。

補助金や奨励金の交付については、補助金の交付件数が前年度より 10 件減少し、奨励金の交付は前年度と同じでした。

「文化財保護ポスター」については、応募が 787 件で前年度 (843 件) に比べて 6.6%減少し、ポスターの配布先については 850 箇所と前年度 (802 箇所) に比べて 5.9%増加しました。

① 文化財の指定及び指定文化財に対する助成等の実施

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	調査数	試掘構	調査数	試掘構	調査数	試掘構
文化財調査	339	28	236	77	△30.3	175.0

主な内容	H21	H22	増減(%)
	件数	件数	件数
国県指定文化財保存修理などの補助金交付	53	43	△18.8
県指定文化財の保存管理などの奨励金交付	212	212	0

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	応募数	配布先	応募数	配布先	応募数	配布先
文化財保護ポスターによる普及啓発	843	802	787	850	△6.6	5.9

② 県立博物館での文化財、伝統芸能等に関する資料の収集、保管、展示 (2)にも掲載)

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
博物館 歴史館	文化芸術に関する資料等の展示や特別展を実施した。	4	50,805	3	21,364	△25.0	△57.9
文庫 金沢	学習意欲や時代のニーズに合った分かりやすい展覧会、企画展を開催した。	7	43,226	7	90,014	0	108.2

③ 県ホームページ等による文化財に関する情報の提供

<ホームページによる紹介>

- ・県ホームページで文化財を紹介

<講座等の開催>

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
<ul style="list-style-type: none"> ・考古学スクールセミナー ・夏休み考古教室・まが玉作り ・かながわの遺跡展 ・考古学ゼミナール ・考古学講座 ・出土品観察会 	6	7,693	7	8,071	16.6	4.9

(3) 芸術家等の育成等に関する支援等

7 芸術家や文化芸術を支える活動を行う者の育成

将来の活躍が期待される芸術家等の発掘や育成を支援し、また、文化施設で催される様々な公演事業を支える舞台技術者等の育成に取り組みました。

平成22年度は、神奈川文化賞・未来賞等による顕彰を行いました。

舞台芸術関係者の育成に向けたワークショップの開催やインターンシップの受入れなど合計5回実施し、あわせて192人の参加者数がありました。平成21年度と比較すると、実施回数(1回)は400.0%増加し、参加者数(96人)は100.0%増加しました。

また、新進芸術家に発表の場を提供するためのコンサートやコンクールなどを合計4回実施し、あわせて3,593人の入場者数がありました。平成21年度と比較すると、実施回数(2回)は100.0%増加し、参加者数(2,457人)は46.2%増加しました。

① 神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施

神奈川文化賞の若手を対象とした未来賞において、指揮者 山田和樹氏を顕彰

② 舞台技術者等の文化芸術を支える者の研修等による育成支援

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
芸術劇場 神奈川	舞台芸術の創造活動における公共劇場や舞台技術の役割を考える「KAAT 舞台技術ワークショップ」を実施した。また、インターンシップの受入をした。	-	-	4	73	-	-
センター 青少年	県立養護学校の子どもたちにプロによる生の音楽の魅力と楽しさを体験してもらう「音楽堂 ふれあいアウトリーチ」を実施した。	1	96	1	119	0	23.9

③ 新進芸術家の育成支援の検討 (8) (18)にも掲載)

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
<ul style="list-style-type: none"> ・フレッシュコンサートの開催 ・かながわ音楽コンクール ・多機能型音楽活動推進事業の実施 	2	2,457	4	3,593	100.0	46.2

8 創作のための環境の整備

県立文化施設などを活用し、芸術家等が創作・練習・稽古等に利用しやすい仕組みづくりを行うなど、創作のための環境の整備を図りました。

平成22年度は、主に発表会やコンクールに利用されている音楽堂の利用が131,203人で、主に練習や発表会に利用されているかながわアートホールの利用が40,770人でした。平成21年度と比較すると、音楽堂の利用人数(116,832人)は12.3%増加し、アートホールの利用者数(39,628人)は2.8%増加しました。

新進芸術家の創作環境支援に向けて、演奏などの発表機会を提供し、実施数は4回で、平成21年と比較すると100.0%増加し、公演の入場者数は3,593人で前年度比較46.2%増加しました。

① 県立文化施設の練習・稽古等での活用 (3 21)にも掲載)

<音楽堂>

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用団体数
音楽活動の場の充実を図るため、オーケストラや合唱、吹奏楽などの発表会やコンクールを実施した。	116,832	131,203	12.3

<かながわアートホール>

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
個人の音楽活動の練習や発表の場として、オーケストラ、室内楽、器楽、舞踊、邦楽、演劇、講演などを実施した。	39,628	40,770	2.8

② 新進芸術家の創作環境支援の検討 (7 18)にも掲載)

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサートの開催 ・かながわ音楽コンクール ・多機能型音楽活動推進事業の実施	2	2,457	4	3,593	100.0	46.2

9 創造的活動の成果を発表する機会の確保

芸術家の創造的活動の成果を発表するための展覧会や公演事業などを開催するとともに、県立文化施設の主催事業などで将来の活躍が期待される芸術家に出演してもらいました。また、市町村と連携して、アマチュア・ミュージシャンなどの活動を支援しました。

平成22年度の県美術展は、応募数1,578点で入場者数は6,763人でした。平成21年度と比較すると、応募数(1,711点)は7.7%減少し、入場者数(7,897人)は14.3%減少しました。

平成22年度の将来の活躍が期待される芸術家に対する活動の場の提供としては、新進芸術家を起用した演奏会や発表機会の充実など合計5回実施し、あわせて4,338名の鑑賞者がありました。平成21年度と比較すると、公演数(3回)は66.6%増加、鑑賞者数(2,898人)は49.6%増加しました。

アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援については、コンテストなどを開催し、平成22年度の参加数は134組で入場者数は704人でした。平成21年度と比

較すると、東日本大震災の影響により中止となった事業があることから参加数（144組）は6.9%減少し、入場者数（2,490人）は71.7%減少しました。

① 県美術展の開催 (3)にも掲載

内容	H21			H22			増減(%)		
	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者	応募数	入選・入賞	入場者
県内の作家に作品発表の機会を提供し、その創作意欲を助長するため、第1期展・第2期展(県民ホール)、厚木巡回展を実施した。	1,711	461	7,897	1,578	477	6,763	△7.7	3.4	△14.3

② 文化芸術団体との連携による新進芸術家を起用した演奏会等の開催

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサート ・かながわ音楽コンクール	2	2,457	2	2,481	100.0	0.9

③ 県立文化施設主催事業における新進芸術家の積極的登用

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・上り坂コンサート	1	441	1	745	0	68.9

④ 新進芸術家の発表機会支援の検討 (18)にも掲載

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・多機能型音楽活動推進事業 〔 県立追浜高等学校のアウトリーチの実施 〔 県立生田東高等学校の鑑賞教室の実施	-	-	2	1,112	-	-

⑤ ストリート・ミュージシャン等アマチュア・ミュージシャンなどの発表機会の支援 (3)にも掲載

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	参加数	入場者数	参加数	入場者数	参加数	入場者数
・Yokohama H000!! ・かながわミュージックサミット* ほか *H22 は東日本大震災の影響により中止	144組	2,490	134組	704	△6.9	△71.7

(4) 文化芸術団体の育成等

10 文化芸術団体の育成・支援、連携・協働の推進

県民が文化芸術活動（創作・練習・稽古・発表等）を行う際に利用できる文化施設を整備し、運営するとともに、県民が参加できる展覧会やコンクールなどの開催により、県民自らが行う文化芸術活動を支援しました。

補助金や助成金の交付、共催等の支援については、助成金の交付件数が前年度より1件減少し、後援数は5件減少し、知事賞交付数は4件増加しました。

文化芸術団体相互の連携については、複数の市から参加するコンテストの開始を予

定していましたが、東日本大震災の影響により事業は中止となりました。

① 文化芸術団体への助成等による支援 (3 5にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	補助数	助成数	補助数	助成数	補助数	助成数
文化芸術団体が行う、公演、展示、コンクール、ワークショップ、交流事業に対する補助金、助成金の支援を実施した。	11	29	11	28	0	△3.4

② 文化芸術団体の活動に対する後援

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	後援数	知事賞 交付数	後援数	知事賞 交付数	後援数	知事賞 交付数
地域文化への振興の寄与、創造性などのある事業、コンクールなどに対し、後援や知事賞の交付を行った。	131	77	126	81	△3.8	5.1

③ 県実施事業等における文化芸術団体との連携・協働の推進 (13にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
NPO と協働し、県内公私立小・中学校、公立特別支援学校にアーティストを派遣し、「アートを活用した教育活動事業」を実施した。(H21 年度で終了)	5	660	-	-	-	-
・演劇教育の実践研究 ・演劇教育実践研究にかかるアーティスト派遣授業 (H21 年度で終了)	6	135	-	-	-	-

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	実施校数	実施校数	実施校数
郷土の伝統芸能に関する教育の充実について、先導的な研究を行う拠点校について支援した。	-	2	-

④ 文化芸術団体相互の連携の促進

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
複数市の代表を招待した野外コンサート「かながわミュージックサミット」を開催	1	1,800	東日本大震災の影響により中止		-	-

(5) 子どもの文化芸術活動の充実

11 文化芸術の鑑賞機会の提供

県立文化施設等で子どもたちが様々な文化芸術を鑑賞する機会を提供しました。

平成 22 年度の子ども達を対象とした文化芸術の鑑賞機会の提供は、合計で 65 回実施し、あわせて 57,970 人が鑑賞しました。平成 21 年度と比較すると、実施回数は (58 回) は 12.0%増加し、入場者数 (56,561 人) は 2.4%増加しました。

① 県立文化施設での子どもたちを対象とした鑑賞事業の実施

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県民ホール 本館	・パイプオルガン夏休み子どもスペシャル	1	272	1	324	0	19.1
音楽堂	・子どもと楽しむ夏・音楽堂 仲道郁代ピアノ・コンサート ピアノ探検！ショパン発見！	1	480	1	933	0	94.3

② 文化芸術団体との連携による子どもたちを対象とした音楽体験事業等の実施 (13にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団による小学校、特別支援学校での演奏会を実施した。	50	51,520	57	56,400	14.0	9.4

③ 県立神奈川近代文学館での児童文学を題材とした展覧会等の実施

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
子供向けの企画として紙芝居や子ども映画会などを実施した。	6	4,289*1	6*2	313	50.0	△92.7

*1 子どもに向けた企画展の入場者数が含まれる

*2 事業計画は9回だったが、東日本大震災の影響により3回中止

12 文化芸術活動の体験機会の充実

子ども達が自ら行う文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術を体験する機会の充実を図りました。

平成 22 年度は、伝統芸能ワークショップや体験事業、読書に親しむ事業や民俗芸能フェスティバルなど合計 47 回実施し、あわせて 54,669 人が参加しました。平成 21 年度と比較すると、実施数 (45 回) は 4.4%増加し、入場者数 (60,662 人) は 9.8%減少しました。

① 文化芸術団体との連携・協働による子どもたちの文化芸術活動の推進 (5 13にも掲載)

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・能・狂言教室 ・歌舞伎鑑賞教室	7	3,775	5	3,582	△28.5	△5.1

② 県立青少年センター、藤野芸術の家での文化芸術を体験する機会の提供

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
県立青少年センター	古典芸能、演劇、ダンスの分野で優れた劇団、演目等を選定し、青少年・一般県民に提供した。	12	9,991	12	11,427	0	14.3
芸術の家 藤野	自然及び人とのふれあい並びに芸術体験を通し、豊かな感性と創造性を育むことができるよう陶芸体験やチェロコンサート、雅楽公演などを実施した。	11	44,709	13	38,101	18.1	△14.7

③ 伝統芸能ワークショップの実施 (5にも掲載)

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・相模人形芝居学校交流ワークショップ ・日本舞踊に学ぶ和の作法 ・長唄三味線にトライ!	11	1,385	12	959	9.0	△30.7

④ 県立神奈川近代文学館での子どもたちが読書に親しむための事業の実施

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
子ども向けの絵本読み聞かせ会や紙芝居などを実施した。	3	222	4*	120	33.3	△45.9

*事業計画は7回だったが、東日本大震災の影響により3回中止。

⑤ 子どもを対象とした民俗芸能フェスティバルの開催 (5にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
かながわこども民俗芸能フェスティバル(れとろびーと2010)	1	580	1	480	0	△17.2

(6) 学校教育における文化芸術活動の充実

13 文化芸術に関する体験学習等の充実

小中学校などの学校教育における文化芸術に関する体験学習などの充実を図るとともに、芸術家等や文化芸術団体が学校教育の中で行う文化芸術活動に必要な協力や支援を実施しました。

① 文化芸術団体との連携による音楽体験事業等の実施 (11にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団による小学校、特別支援学校での演奏会を実施した。	50	51,520	57	56,400	14.0	9.4

② 能・狂言等鑑賞教室の開催 (5 12にも掲載)

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・能・狂言教室 ・歌舞伎鑑賞教室	7	3,775	5	3,582	△28.5	△5.1

③ 本物の舞台芸術体験事業・学校への芸術家等派遣事業（文化庁事業）の県内での展開

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	人数	実施数	人数	実施数	人数
・本物の舞台芸術体験事業 ・学校への芸術家等派遣事業	91	29,000	-	-	-	-

④ 児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業（文部科学省事業）

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
子どものための優れた舞台芸術体験事業	-	-	81	26,596	-	-

⑤ 伝統文化こども教室事業（文化庁事業）の県内での展開

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
子どもたちに対し、学校、文化施設等を拠点とし、民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、武道、茶道、華道など伝統文化に触れる機会を提供する団体の事業に対し助成した。	168	3,630	163	3,630	△2.9	0

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	実施校数	実施校数	実施校数
郷土の伝統芸能に関する教育の充実について、先導的な研究を行う拠点校について支援した。	-	2	-

⑥ 学校文化部活動の充実・支援の実施

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	参加者数	参加者数	参加者数
書道、演劇、器楽・管弦楽など 8 分野で研修会などを実施	646	1,529	136.6

⑦ 県高等学校総合文化祭の開催 (15にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県内各地で合唱大会、美術展など分野ごとに実施した。	32	43,995	30	23,553	△6.25	△46.4

⑧ 県立高校における文化芸術にかかわる科目等の充実及び文化芸術の発展に寄与する
人材の育成

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	実施工数	実施校数	実施工数
我が国の伝統文化に関する教育について、教育課程への位置づけ、指導方法等についての公演会等の実践研究を実施した。	2	—	—
郷土の伝統芸能に関する教育の充実について、先導的研究を行う拠点校における研究について支援した。	—	2	—

⑨ 伝統音楽に関する指導者ワークショップの実施

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
伝統芸能の指導者を養成するための「伝統音楽人材指導者養成ワークショップ」を実施した。	2	51	—	—	—	—

⑩ 芸術家等や文化芸術団体と連携した教育の実施 (10にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
NPO と協働し、県内公立小・中学校、公立特別支援学校にアーティストを派遣し、「アートを活用した教育活動事業」を実施した。(H21 年度で終了)	5	660	—	—	—	—
・演劇教育の実践研究 ・演劇教育実践研究にかかるアーティスト派遣授業 (H21 年度で終了)	6	135	—	—	—	—

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	実施校数	実施校数	実施校数
郷土の伝統芸能に関する教育の充実について、先導的な研究を行う拠点校について支援した。	—	2	—

⑪ 学校と文化施設との連携の推進

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
・音楽堂 ふれあいアウトリーチ ・横浜市芸術文化教育プラットフォーム	8	1,153	8	1,384	0	20.0
・県立高校図書館での文学パネル展の開催	5	7,092	8	31,521	60.0	344.4

(7) 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実

14 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実

高齢者、障害者、子育て中の保護者などが、文化芸術に親しみ自ら文化芸術活動を楽しめるよう、文化芸術団体と協力しながら、文化芸術の鑑賞機会の提供や自らが文

化芸術活動を楽しむための取組みを進めました。

平成22年度は、かながわシニア美術展を開催し、654点の出品があり、入場者は1,907人でした。平成21年度と比較すると、出品数は2.6%減少し、入場者数は1.4%減少しました。

① 美術展など高齢者を対象とした文化芸術事業の実施

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	出品数	入場者数	出品数	入場者数	出品数	入場者数
かながわシニア美術展	672	1,936	654	1,907	△2.6	△1.4
かながわシニア短歌大会	1,509	表彰 77人	—	—	—	—

② 県立施設における文化芸術活動の場の提供などによる障害者の自主的な活動の支援
ライトセンターでの文科系クラブ活動の実施

2 文化資源を活用した地域づくりの推進

(1) 文化芸術に関する交流の推進

15 地域間交流の推進

地域などの地理的・歴史的な背景の下に形成された文化芸術に関する地域間交流を進めるため、国民文化祭への参加や他県との交流事業などを実施しました。

① 他県との文化芸術を介した交流の推進

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	交流数	交流数	交流数
他県文学展の制作・提供を行った。 ・仙台文学館「佐藤さとる コロボックル物語展」制作・提供 ・須坂市立博物館「露伴・茂吉・寅彦と小林勇」編集協力	2	2	0

② 国民文化祭への県内文化芸術団体の参加促進

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	参加団体数	参加者数	参加団体数	参加者数	参加団体数	参加者数
第25回国民文化祭へ参加	20	338	6	105	△70.0	△68.9

③ 全国高等学校総合文化祭への参加

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	参加校数	参加者数	参加校数	参加者数	参加校数	参加者数
第33回全国高等学校総合文化祭へ参加	112	670	92	374	△17.8	△44.1

④ 県高等学校総合文化祭の開催 (13にも掲載)

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県内各地で合唱大会、美術展など分野ごとに実施した。	32	43,995	30	23,553	△6.2	△46.4

16 国際交流の推進

文化芸術を介した国際交流事業の実施や県立文化施設での海外の作品の鑑賞機会の提供などにより、国際交流や海外の文化芸術に対する理解を深める取組みを進めました。

① 国際児童画展の開催 *隔年実施 (H22に作品募集と審査を実施し、H23に表彰式・展覧会を開催予定)

内容	H21			H22			増減(%)		
	応募数	外国応募	入場者	応募数	外国応募	入場者	応募数	外国応募	入場者
児童の国際理解と国際交流推進のため、県内及び世界各国から児童画を募集し展覧会を開催した。	(20,723)	(16,863)	9,828	22,443	19,478	-	8.2	15.5	-

② 海外の友好交流都市等との文化芸術を介した交流事業の実施

かながわビエンナーレ国際児童画展ゴールドコースト特別展を有効姉妹都市のゴールドコースト市で開催。

③ 海外の最高水準の舞台芸術作品の県立文化施設での公演や展覧会の実施

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
県民ホール 本館	質の高い文化芸術の鑑賞機会を充実するため、海外オペラ、バレエ公演などを実施した。	8	10,435	6	8,013	△25.0	△23.2

17 多文化理解の推進

各国の文化を紹介し、外国籍県民との交流を図る催しや講座を実施するなど、多文化理解を進めました。

平成22年度の多文化理解の推進のための事業の実施は、合計で32回実施し、あわせて27,432人が参加しました。平成21年度と比較すると、実施回数は(42回)は23.8%減少し、入場者数(25,701人)は6.7%増加しました。

① 「あーすフェスタかながわ」など多文化理解や交流を推進するための事業の実施

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
多文化共生をテーマとした「あーすフェスタかながわ」を開催し、シンポジウム、民俗芸能ステージ、ワークショップ、世界屋台村などを展開した。	1	20,000	1	22,000	0	10.0

② 地球市民かながわプラザ等での多文化理解を推進するための講座等の実施

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
世界の絵本展覧会、民族楽器のワークショップなどの「ワールドカルチャー・デイ」を実施した。	12	2,416	12	2,230	0	△7.7
小学校に出向き、写真パネルや民族衣装、楽器を使ったワークショップなどの「あーすキャラバン隊」を実施。	8	799	5	418	△37.5	△

③ 湘南国際村における国際人材育成等に関する事業の実施

主な内容と事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
学部生・院生を対象にインターカレッジ方式で日本とアジアの政治・経済・文化を主題にした若手国際人材セミナー「湘南国際村インカレ国際セミナー」を実施。	1	83	1	88	0	6.0
県内高校の国際教育の推進を支援するため、国際人材育成プログラムを提供し高校に講師を派遣した。	20	2,403	13	2,696	△35.0	12.1

(2) 創造的活動等の推進

18 創造的活動の推進と発信

県立文化施設の活用や文化芸術団体との連携により、新しい文化芸術の創造的活動を推進するとともに、これらを国内外に発信する取組みを実施しました。

平成23年1月11日に、舞台芸術専用の劇場である神奈川芸術劇場<KAAT>が開館しました。KAATは県民ホール本館との一体運営により、本県の文化芸術の広域拠点機能を果たす役割を担い、モノ・人・まち、の3つの「つくる」を満たす創造型劇場として舞台芸術作品の鑑賞機会の充実を図っていきます。

平成22年度は、舞台芸術作品の創造・発信や新進芸術家等への支援として演奏の場の提供など合計で12作品をつくり、入場者はあわせて28,731人でした。

① 県立文化施設における新たな舞台芸術作品等の創造・発信 (2にも掲載)

	公演名/公演日	分野	入場者数(人)
神奈川芸術劇場(オープニングラインナップ)	金閣寺 1月29日(土)~2月14日(月)	演劇	17,452
	春風亭小朝独演会 3月12日(土)~3月13日(日) ※東日本大震災の影響により3月13日の1公演のみ	古典芸能	670
	杉本文楽 木偶坊入情 曾根崎心中付り観音廻り 3月23日(水)~3月27日(日) ※東日本大震災の影響により全公演中止	古典芸能	-
	浮漂(ぶい) 1月17日(月)~1月23日(日)	演劇	1,590
	ゾウガメのソニックライブ 2月2日(水)~2月15日(火)	演劇	2,812
	Kappa/或小説 3月11日(金)~3月21日(月・祝) ※東日本大震災の影響により3月13日の1公演のみ	演劇	70
	はなれ警女(ごぜ) おりん[人形劇] 3月25日(金)~3月27日(日) ※東日本大震災の影響により全公演中止	演劇	-

	公演名	H21		H22		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
音楽堂	10年間継続して創造・発信してきたコンサートの最終公演や雅楽と華道のコラボレーション公演などを実施した。	2	1,776	3	2,544	50.0	43.2

② 文化芸術団体・芸術系大学等との連携による先駆的で発信性の高い文化芸術の創造 (9にも掲載)

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・多機能型音楽活動推進事業(県と大学の協働) 県立追浜高等学校のアウトリーチの実施 県立生田東高等学校の鑑賞教室の実施	-	-	2	1,112	-	-

③ 新進芸術家等への支援の検討 (7 8にも掲載)

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	入場者数	実施数	入場者数	実施数	入場者数
・フレッシュコンサートの開催 ・かながわ音楽コンクール ・多機能型音楽活動推進事業*	2	2,457	2	2,481	0	0.9

*②に計上しているため事業名のみ再掲。

(3) 文化資源の活用

⑨ 文化資源を活用した地域の活性化

地域の活性化等に活用可能な文化資源については、市町村、文化芸術団体、芸術家、企業などとの連携により有効活用に努めるとともに、その魅力を広くPRするための情報発信に取り組みました。

- ① 相模湾沿岸をはじめとした地域に残る近代建造物と邸園を保全・活用した地域づくりの推進
 - ・民間による歴史的建造物や邸園の保全活用の取組み支援のための地域づくりを推進する専門家「邸園（歴史劇建造物）保全活用推進員」を養成した。
 - ・歴史的建造物を会場としたコンサート、見学会などを実施した。
- ② 県西地域の豊かな自然環境や歴史的・文化的遺産などを活用した花と水の交流圏づくり等の推進
 - ・「花と水の交流圏」の観光魅力の圏域内外へ向けた情報発信として「かながわWEST花と水の交流圏」をホームページに掲載、「花と水の交流圏ガイドマップ」「花と水の交流圏通信(季刊紙)」の発行
 - ・寺社めぐり、鎌倉幕府開運街道等回遊ルートの整備や公園等観光・交流スポットの整備など施設整備への市町村補助
- ③ 鎌倉の世界文化遺産登録の推進
 - ・「推薦書原案」の作成や国際会議の開催など「武家の古都・鎌倉」の早期かつ確実な世界遺産登録に向けた取組みを進めた。
 - ・登録候補遺産の整備促進を図るため、関係市が実施する史跡整備事業等に要する経費に対して補助金を交付した。

④ 地域に伝承されてきた文化等の発掘・発信・体験の促進

主な事業	H21		H22		増減(%)	
	実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
足柄上地域の地域文化などの伝承、体験型観光などを通じた地域ブランドとしての「あしがらの里」の形成と普及を行った。	7	330	5	395	△28.5	19.6

⑤ 県立文化施設の地域のにぎわい創出等への活用

	事業名	参加者
県民ホール本館	国際舞台芸術ミーティング in 横浜<TPAM> ○公演 ○展示 ○セミナー	23,875
芸術劇場	○コミュニケーション・プログラム ○関連企画 ○関連事業	

⑥ ホームページ等による、県内の伝統的な行事や祭りの開催など文化資源に関する地域情報の発信 (4) (24)にも掲載

事業内容	H21	H22	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
イベントなどの県内観光情報ホームページの運営	8,719,691	8,180,000	△6.1
イベントなどの県内観光情報をメールマガジンで配信	30,600	28,200	△7.8

⑦ 地域の製品の普及、伝統的工芸品の製品フェア開催など文化資源の普及、育成

事業内容	H21	H22	増減(%)
	参加者数	参加者数	参加者数
伝統的工芸品の後継者育成事業への助成を行った。	662	206	△68.8

・足柄茶のおいしさ、伝統的な茶文化の再発見を通して、ブランド力向上、消費拡大を図るため、「足柄うまみ茶 花里(はなり)の雫(しずく)」(茶器に直接茶葉を入れ低温の湯を少量注ぎ、薫りと旨みを楽しむ飲み方)の普及を図った。

⑧ フィルムコミッション活動支援事業の推進

(4) 景観の形成

20 良好な景観の形成

県内各地の自然景観、歴史的景観、都市景観などの良好な景観の形成に当たっては、文化的諸条件などに配慮し、魅力ある景観づくりに取り組みました。

① 「神奈川景観づくり基本方針」に基づく魅力ある景観づくりの推進

・県内の海沿いの市町が景観計画等により景観形成を推進する際の方向性を示した「なぎさ軸広域景観構想」を策定し、プロジェクトを推進した。

② 文化財保護法に基づく重要文化的景観の選定に係る検討

③ 歴史まちづくり法等に基づく関連文化財所在市町村への助言

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

(1) 学校施設、公共的施設の活用等

21 公共的施設等の活用

文化芸術活動の場の充実に関する県民ニーズに応えるため、既存の文化施設を利用しやすくするなどのサービスの改善を図るとともに、地域の身近な拠点施設の活用等に取り組みました。

① 学校施設、公共的施設の文化芸術活動の練習、稽古、発表の場としての活用 (3) (8)にも掲載) <音楽堂>

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	利用団体数	利用団体数	利用団体数
音楽活動の場の充実を図るため、オーケストラや合唱、吹奏楽などの発表会やコンクールを実施した。	116,832	131,203	△12.3

<かながわアートホール>

主な内容と事業	H21	H22	増減(%)
	利用人数	利用人数	利用人数
個人の音楽活動の練習や発表の場として、オーケストラ、室内楽、器楽、舞踊、邦楽、演劇、講演などを実施した。	39,628	40,770	2.8

(2) 県立文化施設の充実

22 県立文化施設の機能の充実

県民の文化芸術活動に対するニーズが多様化・高度化する中、専門的な機能を有した文化施設が求められています。こうしたニーズに対応できるよう、県立文化施設の充実を図るとともに、運営についての検証を実施しました。

平成22年度については、芸術家等の人材育成やワークショップ事業を合計8回実施し、あわせて673人の参加がありました。平成21年度と比較すると、実施回数(7回)は14.2%増加し、参加者数(806人)は16.1%減少しました。

① 文化施設の特性に応じた芸術家等の人材育成、教育プログラム、アウトリーチ等の実施

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
芸術劇場 神奈川	舞台芸術の創造活動における公共劇場や舞台技術の役割を考える「KAAT 舞台技術ワークショップ」を実施した。	—	—	3	61	—	—
音楽堂	県立養護学校の子どもたちにプロによる生の音楽の魅力と楽しさを体験してもらう「音楽堂 ふれあいアウトリーチ」を実施した。	6	710	4	493	△33.3	△30.5

② 文化施設における参加体験型（ワークショップ）事業の実施

施設名	主な事業	H21		H22		増減(%)	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
神奈川 芸術劇場	舞台芸術の創造活動における公共劇場や舞台技術の役割を考える「KAAT 舞台技術ワークショップ」を実施した。*	—	—	(3)	(61)	—	—
青少年 センター	小・中・高等学校演劇部顧問や市民劇団等の指導者、学校で指導的立場にある生徒等を対象とした「演劇指導者ワークショップ」を実施した。	1	96	1	119	—	—

*①に計上しているため事業名のみ再掲。

③ 文化施設の整備による施設機能の向上

- ・ 神奈川芸術劇場<KAAT>の開館
- ・ 県民ホール(本館)再整備の検討

23 運営方法の点検等

県立文化施設の機能を最大限に発揮させるため、効果的・効率的な事業の実施や施設運営について検証を行いました。

① 施設利用者を対象としたアンケート調査の実施

※数値の端数処理のため、回答合計が100%ではない場合があります。

<県民ホール本館> 「平成22年度神奈川県民ホール利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成22年12月1日～12月31日				
○ 実施方法	調査票の館内配置(主催事業・共催事業)				
○ 有効回収数	367件				
○ 結果概要					
・ 催しの内容	良い83%	普通 7%	良くない1%	無回答 8%	
・ 料金	安い37%	適正47%	高い 8%	無回答 6%	
・ 催しもの総合評価	良い64%	普通 6%	良くない1%	無回答28%	
・ 施設総合評価	良い58%	普通14%	良くない1%	無回答12%	

<神奈川芸術劇場> 「平成22年度神奈川芸術劇場利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成23年1月17日～2月16日				
○ 実施方法	調査票の館内配置(主催事業・共催事業)				
○ 有効回収数	1055件				
○ 結果概要					
・ 催しの内容	良い79%	普通12%	良くない1%	無回答 7%	
・ 催しを選んだ理由	出演者80%	演目14%	料金1%	会場9%	その他12%
・ 施設総合評価	良い65%	普通24%	良くない2%	無回答7%	

<音楽堂> 「平成22年度神奈川県立音楽堂利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成22年12月1日～12月27日			
○ 実施方法	調査票のちらしへのはさみ込み・館内配置(主催事業・共催事業)			
○ 有効回収数	121件			
○ 結果概要				
・ 催しの内容	良い86%	普通 8%	良くない 0%	無回答 4%
・ 料金	安い60%	適正33%	高い 1%	無回答 4%
・ 催しもの総合評価	良い71%	普通 8%	良くない 1%	無回答 4%
・ 施設総合評価	良い66%	普通19%	良くない 1%	無回答13%

<かながわアートホール> 「平成22年度神奈川県立かながわアートホール利用者満足度調査」概要

○ 実施時期	平成22年12月1日～12月27日			
○ 実施方法	調査票のちらしへのはさみ込み・館内配置(主催事業・共催事業)			
○ 有効回収数	10件(調査期間中の主催事業・共催事業は1事業、25人)			
○ 結果概要				
・ 催しの内容	良い90%	普通10%	良くない 0%	無回答0%
・ 催しもの総合評価	良い90%	普通 0%	良くない 0%	無回答10%
・ 施設総合評価	良い60%	普通10%	良くない 0%	無回答30%

<神奈川近代文学館> 「神奈川近代文学館利用者満足度調査 平成22年度分」概要

○ 実施時期	平成22年10月2日～11月14日			
○ 実施方法	調査票の館内配置(展覧会「八雲展」)			
○ 有効回収数	450件			
○ 結果概要				
・ 分かりやすさ	良い53%	普通19%	悪い 1%	無回答25%
・ 料金	良い62%	普通23%	悪い 0%	無回答13%
・ 展覧会全体評価	良い78%	普通14%	悪い 0%	無回答 5%
・ 施設・設備全体評価	良い17%	普通13%	悪い 0%	無回答69%

② 施設運営会議等による施設運営や実施事業の点検・検証

③ 施設運営全般についてのモニタリングの実施
県立県民ホールほか各指定管理施設で実施

(3) 情報通信技術の活用

24 情報の発信

文化芸術に関する情報や資料などを容易に入手できるよう、ホームページや電子メールを活用した情報提供を行いました。

① ホームページや電子メールを活用した文化芸術情報の提供

事業内容
各種公演や展覧会等の情報や文化芸術に関する関心、理解を深めるために役立つホームページ「かな@(アート)」を運営した。

事業内容	H21	H22	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
イベントなどの県内観光情報ホームページの運営	8,719,691	8,180,000	△6.1
イベントなどの県内観光情報をメールマガジンで配信	30,600	28,200	△7.8

② 保存資料等の検索・閲覧等に関する情報通信技術の活用

事業内容	H21	H22	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
インターネットによる県立近代文学館の蔵書検索システムの運営を行った。	38,147	42,624	11.7

25 利便性の向上

県立文化施設の利用手続において、窓口を訪れる負担などを軽減するため、情報通信技術を活用し、自宅から利用予約が可能となるよう、利用者サービスの向上に取り組みました。

① 施設利用予約システムの運用

事業内容	H21	H22	増減(%)
	アクセス数	アクセス数	アクセス数
県内公共施設のインターネットによる予約システムの運営を行った。	706,373	779,046	10.2

26 文化芸術にかかわる資料、作品、情報等の保存

県立文化施設等に保存・保管されている文化芸術にかかわる資料について、デジタル化、データベース化を図り、利用者の利便性を高める取組みを進めました。

① 県立文化施設等における収蔵資料等のデジタル化、データベース化の推進

主な事業	H21		H22	
	新規	累計	新規	累計
県立近代文学館の特別資料(原稿、自筆資料、書簡等)のデータベース化を行った。	7,319	167,000	5,369	172,369

(4) 文化芸術活動に対する支援の促進

27 文化芸術活動に対する個人や企業等からの寄附や支援の促進

県民を主体とした文化芸術活動をこれまで以上に充実させていくためには、様々な主体による文化芸術活動の支援が不可欠となっています。

文化芸術の振興に寄与する寄附税制等の周知などにより、個人や企業からの寄附や支援が活発に行われるよう取り組みます。

- ① 寄附税制等に関する周知
—
- ② 文化芸術団体への寄附の促進
—
- ③ メセナ企業等に関する情報の提供
—
- ④ メセナ企業と芸術家とを結び付ける方策の検討
—

(5) 顕彰の実施

28 顕彰の実施

文化芸術活動で顕著な成果を取めた人や団体、また、文化芸術の振興に寄与した人や団体の顕彰を実施しました。

平成22年度は、文学や絵画、女性史の研究や映画批評、新鋭の指揮者など本県文化芸術の振興に寄与いただいた方々を表彰しました。

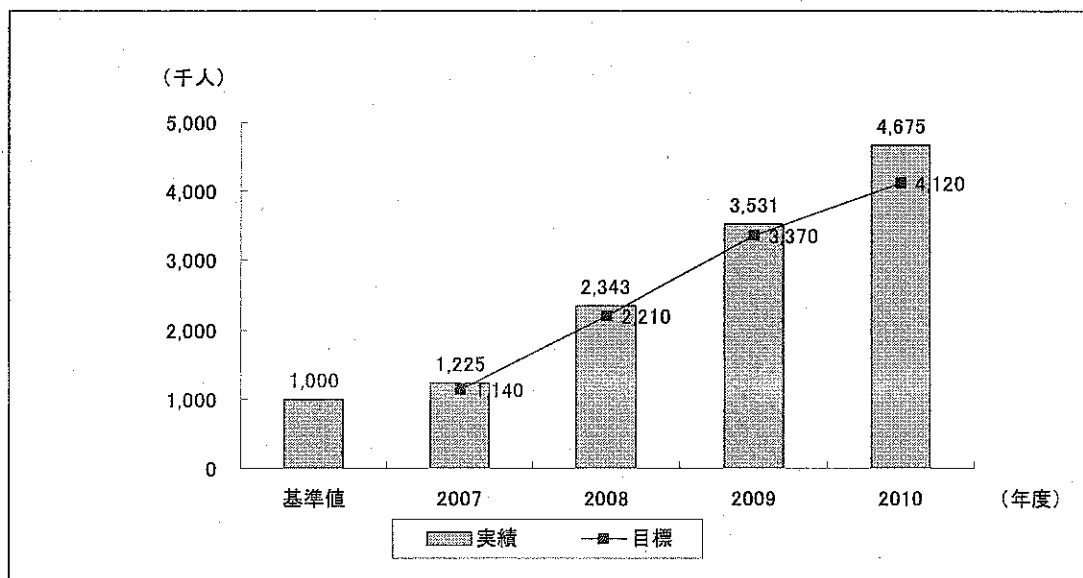
① 神奈川文化賞・未来賞等による顕彰の実施

神奈川文化賞	・三枝 昂之（文学） ・山本 直彰（芸術）	・江刺 昭子（文化活動） ・佐藤 忠男（文化活動）
神奈川文化賞未来賞	・山田 和樹（芸術）	

Ⅱ 進行管理のための参考指標

1 県立文化施設*利用者数（累計）

県立文化施設における鑑賞者及び利用者は増加している（2010年度（平成22年度）までの累計値は、目標値4,120千人に対し実績数は4,675千人）。



*「県立文化施設」：県民ホール（本館・神奈川芸術劇場）・音楽堂・かながわアートホール・青少年センター・近代美術館・近代文学館

2 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度（全県）

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

質問項目	生活重要度		生活満足度	
	重要	重要でない	満たされている	満たされていない
文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること	53.2%	11.2%	22.4%	21.9%
自由な時間や休日が多く、ゆとりある生活ができること	70.1%	5.8%	16.4%	40.7%
自然や歴史・文化、景観など地域の特性を生かしたまちづくりが進んでいる	66.5%	4.6%	18.7%	18.6%

（平成22年度県民ニーズ調査）

3 文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識、満足度（地域別）

文化芸術の鑑賞・活動の重要性に関する意識は高いが、満足度は低い。

文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること

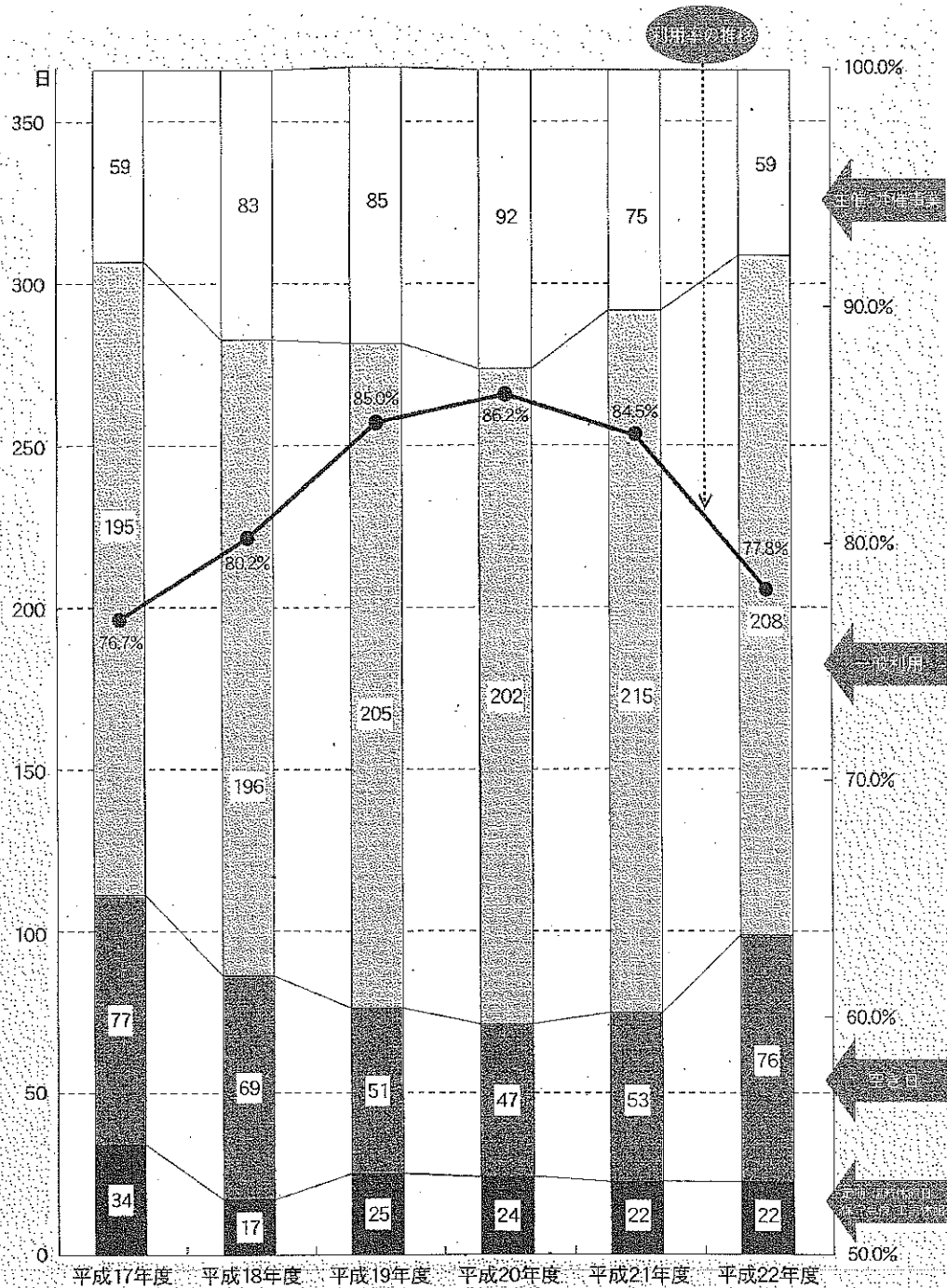
		(%)							
		n	非常に重要である	かなり重要である	どちらともいえない	さほど重要でない	まったく重要ではない	わからない	無回答
全	体	1320	13.3	39.9	32.0	9.8	1.4	2.0	1.5
居住地	横浜	494	14.8	41.3	30.2	10.9	1.2	1.0	0.6
	川崎	170	11.8	39.4	34.1	7.6	1.8	3.5	1.8
	相模原	104	18.3	33.7	36.5	6.7	1.0	1.9	1.9
	横須賀三浦	119	14.3	42.9	30.3	6.7	1.7	1.7	2.5
	県央	133	6.0	36.1	43.6	9.0	1.5	2.3	1.5
	湘南	201	11.9	39.3	29.9	13.4	0.5	3.0	2.0
	足柄上	26	15.4	46.2	26.9	7.7	-	3.8	-
	西湘	41	12.2	48.8	19.5	12.2	2.4	2.4	2.4
	性別	男性	585	12.0	36.9	35.0	10.3	2.2	2.1
	女性	705	14.2	42.6	29.6	9.8	0.6	2.0	1.3
性年代	男性20歳代	55	29.1	34.5	23.6	10.9	1.8	-	-
	30歳代	89	15.7	23.6	40.4	11.2	3.4	3.4	2.2
	40歳代	98	9.2	35.7	39.8	11.2	2.0	2.0	-
	50歳代	94	3.2	38.3	41.5	10.6	4.3	1.1	1.1
	60歳代	144	9.0	41.0	35.4	10.4	0.7	2.1	1.4
	70歳以上	105	14.3	43.8	25.7	7.6	1.9	2.9	3.8
	女性20歳代	48	16.7	22.9	39.6	14.6	2.1	4.2	-
	30歳代	126	16.7	35.7	33.3	11.9	-	2.4	-
	40歳代	151	15.9	41.1	32.5	9.9	0.7	-	-
	50歳代	116	12.1	40.5	33.6	10.3	-	2.6	0.9
	60歳代	167	11.4	50.3	24.0	8.4	-	2.4	3.6
	70歳以上	94	14.9	52.1	21.3	6.4	1.1	2.1	2.1

文化や芸術を鑑賞したり、活動に参加できる場が身近に整っていること

		(%)							
		n	十分満たされている	かなり満たされている	どちらともいえない	あまり満たされていない	ほとんど満たされていない	わからない	無回答
全	体	1320	2.0	20.4	42.9	16.9	5.0	10.4	2.5
居住地	横浜	494	2.0	22.5	40.9	17.2	5.3	10.3	1.8
	川崎	170	2.4	24.7	41.2	14.1	2.9	13.5	1.2
	相模原	104	1.9	19.2	43.3	16.3	5.8	8.7	4.8
	横須賀三浦	119	-	26.9	41.2	14.3	7.6	6.7	3.4
	県央	133	2.3	14.3	49.6	16.5	4.5	11.3	1.5
	湘南	201	2.0	18.4	44.8	18.4	2.5	10.9	3.0
	足柄上	26	3.8	7.7	42.3	34.6	7.7	3.8	-
	西湘	41	4.9	4.9	46.3	17.1	9.8	9.8	7.3
	性別	男性	585	2.2	18.3	46.3	17.3	4.3	9.6
	女性	705	1.8	22.4	39.9	16.6	5.5	11.1	2.7
性年代	男性20歳代	55	-	10.9	47.3	16.4	7.3	18.2	-
	30歳代	89	5.6	13.5	41.6	20.2	3.4	12.4	3.4
	40歳代	98	2.0	17.3	49.0	19.4	1.0	10.2	1.0
	50歳代	94	2.1	18.1	44.7	20.2	4.3	7.4	3.2
	60歳代	144	-	18.8	50.7	16.0	6.3	6.9	1.4
	70歳以上	105	3.8	26.7	42.9	12.4	3.8	7.6	2.9
	女性20歳代	48	2.1	12.5	33.3	14.6	6.3	29.2	2.1
	30歳代	126	4.8	18.3	42.1	11.9	2.4	17.5	3.2
	40歳代	151	2.6	23.8	40.4	16.6	6.6	8.6	1.3
	50歳代	116	-	25.9	47.4	15.5	4.3	6.0	0.9
	60歳代	167	0.6	19.8	38.9	21.0	6.0	9.6	4.2
	70歳以上	94	1.1	30.9	31.9	18.1	7.4	6.4	4.3

(平成22年度県民ニーズ調査)

4 県立文化施設の利用率 県民ホール 大ホール



利用可能日数	331日	348日	341日	341日	343日	343日
実利用日数 (自主・共催含む)	254日	279日	290日	294日	290日	267日
実利用日数 (一般のみ)	195日	196日	205日	202日	215日	208日

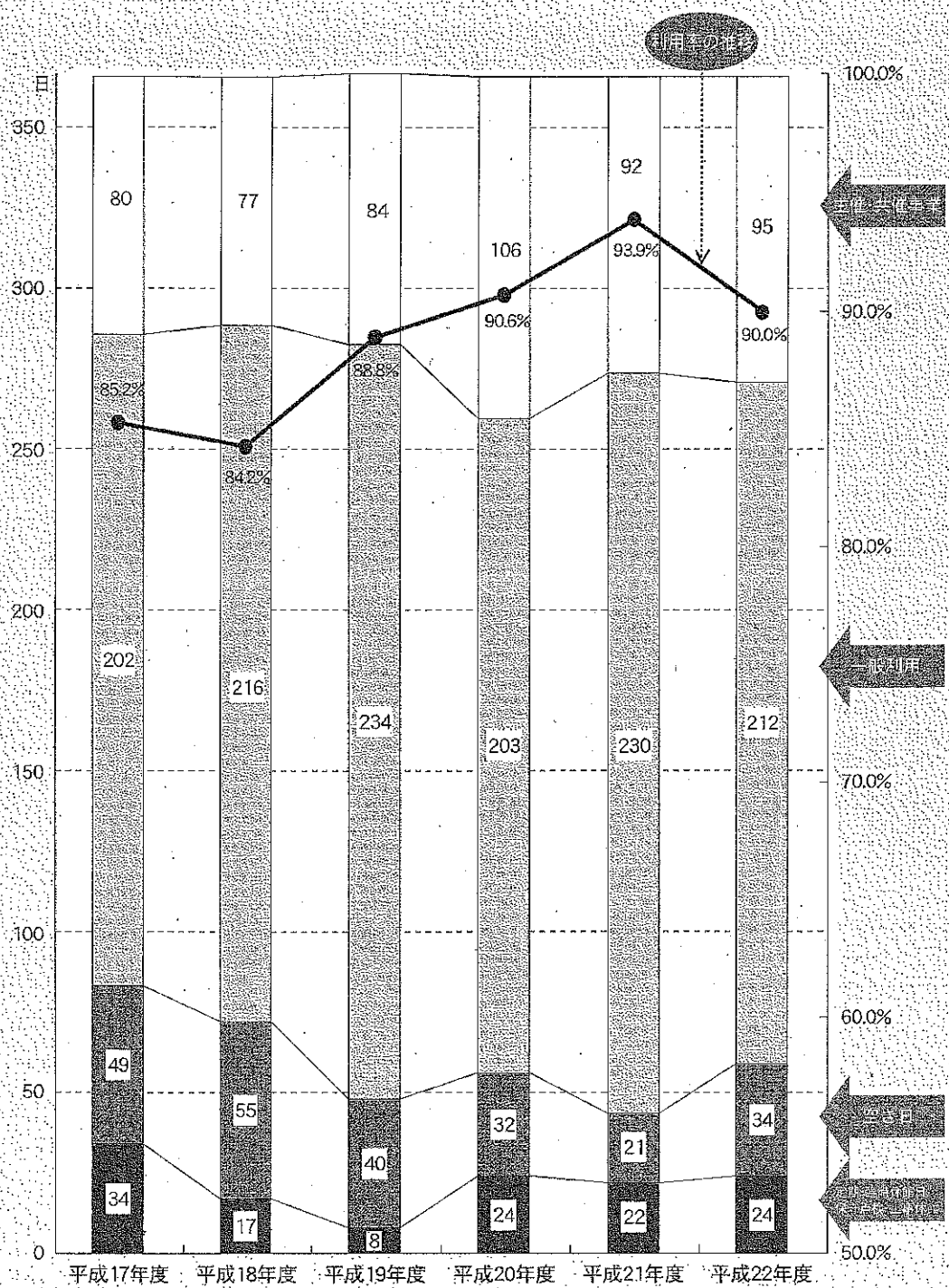
◆平成22年度は、東日本大震災の影響で、3月の利用が9日間減。

<グラフの見方>

*棒グラフ：利用の内訳日数 <目盛はグラフの左側> *折れ線グラフ：利用率 <目盛はグラフの右側>

(「平成22年度 県民ホール年報」)

5 県立文化施設の利用率 県民ホール 小ホール



利用可能日数	331日	348日	358日	341日	343日	341日
実利用日数 (自主・共催含む)	282日	293日	318日	309日	322日	307日
実利用日数 (一般のみ)	202日	216日	234日	203日	230日	212日

◆平成22年度は、東日本大震災の影響で、3月の利用が7日間減。

<グラフの見方>

*棒グラフ：利用の内訳日数 <目盛はグラフの左側>

*折れ線グラフ：利用率 <目盛はグラフの右側>

(「平成22年度 県民ホール年報」)

6 県立文化施設の利用率 神奈川芸術劇場

ホール

利用可能日数	74日	利用率
実利用日数 (自主・提携含む)	51日	68.9%
実利用日数 (一般のみ)	0日	

大スタジオ

利用可能日数	113日	利用率
実利用日数 (自主・提携含む)	97日	85.8%
実利用日数 (一般のみ)	0日	

中・小スタジオ

利用可能日数	126日	利用率
実利用日数 (自主・提携含む)	77日	61.1%
実利用日数 (一般のみ)	4日	

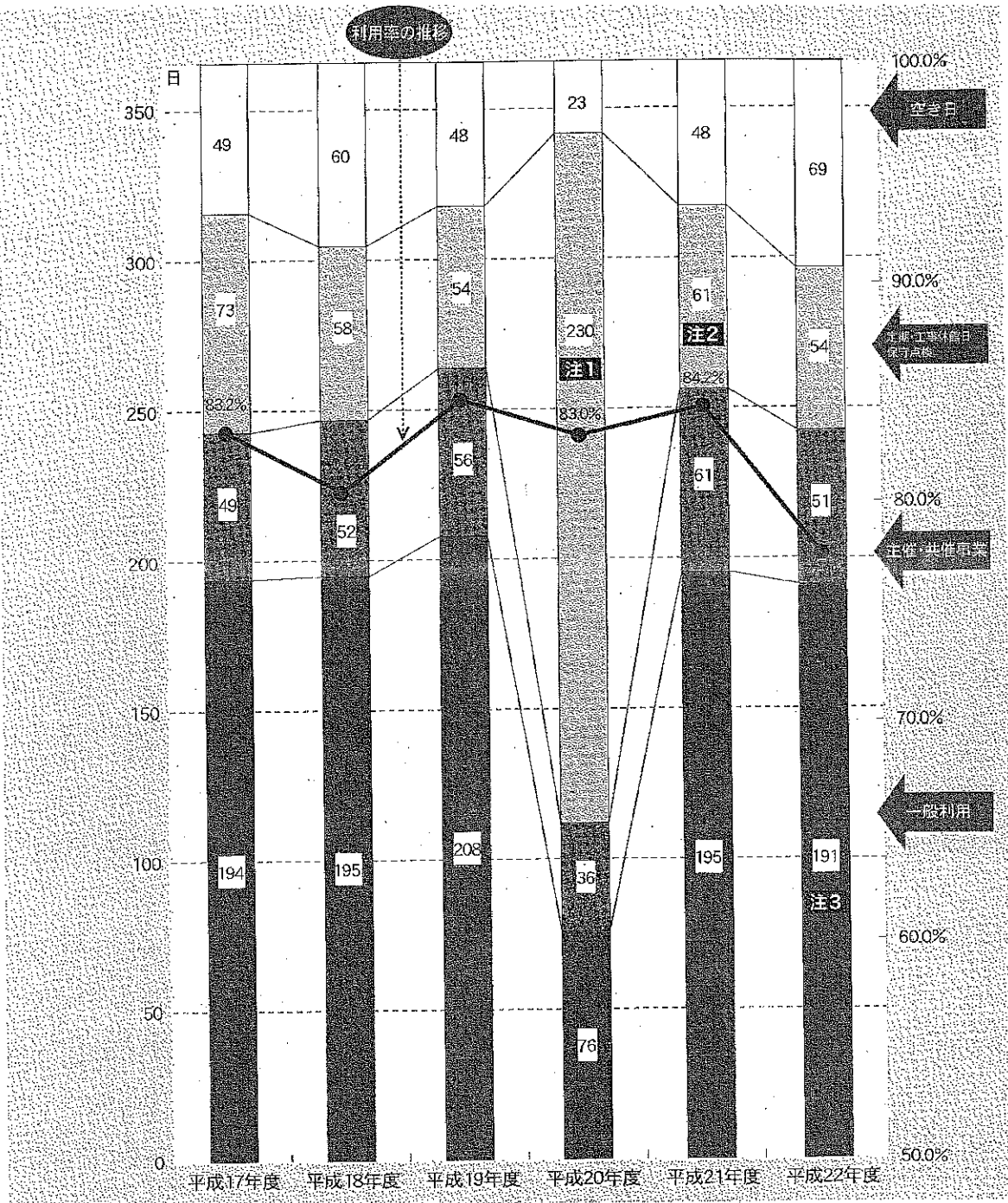
アトリエ

利用可能日数	124日	利用率
実利用日数 (自主・提携含む)	110日	88.7%
実利用日数 (一般のみ)	2日	

※平成22年度は開館年度として自主事業中心の利用となっている。

(「平成22年度 神奈川芸術劇場年報」)

7 県立文化施設の利用率 音楽堂



利用可能日数	292日	307日	312日	★135日	☆304日	311日
実利用日数 (自主・共催含む)	243日	247日	264日	112日	256日	242日
実利用日数 (一般のみ)	194日	195日	208日	76日	195日	191日

注1・★平成20年度は138日間のみ開館、後半212日間は耐震補強工事のため休館。

注2・☆平成21年度は17日間(4月17日まで)は耐震補強工事のため休館。

注3・平成22年度は、東日本大震災の影響で3月の利用予定が7日公演中止。

<グラフの見方>*棒グラフ：利用の内訳日数はグラフの左側の目盛 *折れ線グラフ：利用率は右側の目盛

(「平成22年度 音楽堂年報」)

8 県立文化施設の利用率 かながわアートホール

利用日数・利用率

(日・%)

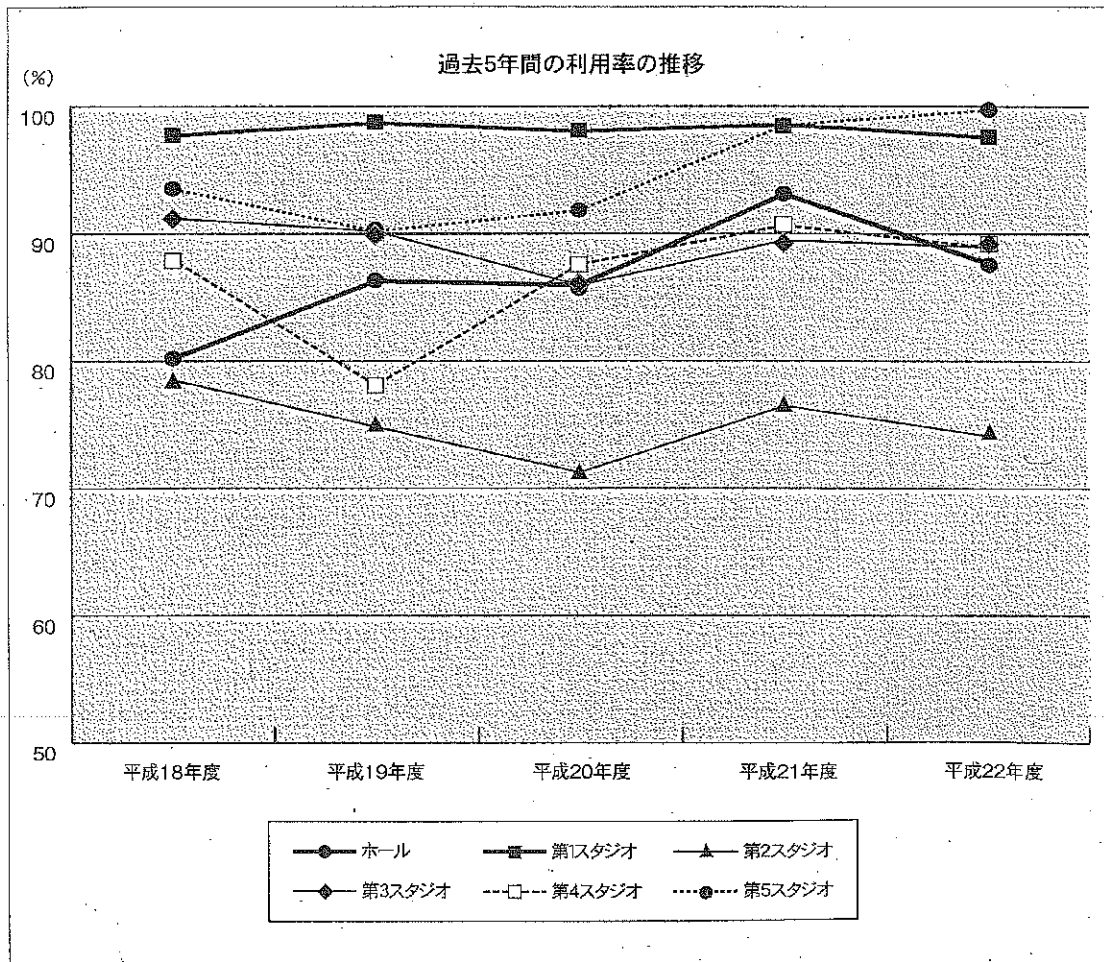
	利 用 施 設 の 内 訳																								
	ホ ー ル				第1スタジオ				第2スタジオ				第3スタジオ				第4スタジオ				第5スタジオ				
	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	利用可能日	利用日数	利用率	空き日	
平成18年度	307	303	243	80	60	307	300	98	7	307	241	79	66	307	280	91	27	307	270	88	37	307	287	94	28
平成19年度	306	306	264	86	42	306	302	99	4	306	229	75	77	306	276	90	30	306	239	78	67	306	276	90	20
平成20年度	306	306	263	86	43	306	300	98	6	306	218	71	88	306	263	86	43	306	268	88	38	306	281	92	25
平成21年度	356	333	310	93	23	342	337	99	5	340	260	76	80	342	306	89	36	342	310	91	32	342	337	99	5
平成22年度	356	333	292	88	41	332	324	98	8	344	255	74	89	344	306	89	38	344	306	89	38	344	343	99	1

*平成22年度は、東日本大震災の影響で3月の利用が、ホール7日間、第1スタジオ4日間、第4スタジオ1日間の減

*開館日数の数え方 1年の日数から休館日(年末年始(12月28日～1月4日))を除いたもの

*利用可能日の数え方 ホール…開館日数から利用対象外日数(計画的な工事日数等)を除いたもの

*利用率=利用日数/利用可能日数



(「平成22年度 かながわアートホール年報」)

9 過去1年間に美術鑑賞等の文化芸術の鑑賞・活動を行ったことのある人の割合

地域	標準数	10歳以上 推定人口 (千人)	総数	鑑賞・活動の種類											楽器の演奏
				スポーツ 観 (テレビ、 DVDなど は除く)	美術鑑賞 (テレビ、 DVDなど は除く)	演芸・演劇 (テレビ、 DVDなど は除く)	映画鑑賞 (テレビ、 ビデオ DVDなど は除く)	音楽鑑賞 (ラジオ、 ビデオ、 CD、レコード による)	音楽鑑賞 (ライブ、 ライブによる 演奏)	CD・ レコード による	DVD・ ビデオなど による	DVD・ ビデオなど による (テレビ 画面は除く)			
全国	1	178,820	113,604	84.9	21.1	18.6	14.2	37.9	9.3	12.2	52.4	45.9	10.6		
北海道	2	5,052	4,987	84.8	23.6	14.6	10.3	32.4	8.7	12.5	50.0	44.8	10.6		
青森県	3	3,651	4,288	78.0	14.7	15.5	8.7	39.9	6.5	17.6	44.7	40.6	8.5		
岩手県	4	3,779	1,288	30.6	12.0	13.0	12.0	25.7	7.2	9.2	44.4	38.2	7.5		
宮城県	5	3,806	2,101	84.9	28.8	14.5	12.4	34.8	8.8	12.0	51.1	44.1	11.1		
秋田県	6	3,761	1,016	73.6	20.8	11.5	11.4	34.9	7.8	10.4	48.1	35.6	7.9		
山形県	7	3,780	1,074	78.7	16.7	14.5	10.5	31.5	8.3	9.0	49.1	39.2	7.9		
福島県	8	3,475	1,843	78.9	16.7	12.9	9.1	25.1	6.9	8.3	48.8	39.2	8.4		
茨城県	9	3,652	2,646	82.1	19.4	15.4	11.0	41.1	7.7	9.7	50.0	43.6	10.6		
栃木県	10	3,603	1,791	83.9	18.0	14.7	12.8	35.7	9.1	11.2	50.9	45.2	10.9		
群馬県	11	3,469	1,789	84.7	19.3	14.6	12.9	33.7	9.1	11.2	50.9	44.0	11.9		
埼玉県	12	5,733	6,328	87.3	21.3	19.0	15.2	41.1	9.8	12.8	50.9	43.5	12.2		
千葉県	13	5,221	5,436	87.5	22.1	19.8	14.8	41.0	9.2	12.6	55.8	48.0	11.6		
東京都	14	4,291	11,487	88.5	24.0	28.0	21.5	48.4	13.9	15.9	61.6	53.4	13.7		
神奈川県	15	4,860	7,801	88.0	22.7	22.0	18.7	48.3	12.2	14.0	60.4	52.3	13.7		
新潟県	16	3,761	2,120	80.5	18.8	18.2	10.6	29.2	7.3	12.5	44.7	39.9	8.2		
富山県	17	3,690	983	82.6	17.5	20.1	12.8	39.2	7.2	11.1	44.7	40.9	7.5		
石川県	18	3,587	1,029	65.7	16.3	21.1	12.9	36.9	10.6	11.2	48.9	43.3	8.3		
福井県	19	3,561	720	84.8	17.7	16.9	11.0	38.5	8.1	10.3	47.9	44.4	8.6		
岐阜県	20	3,445	781	88.4	20.4	15.2	12.8	30.2	7.5	11.4	46.3	41.8	8.6		
静岡県	21	3,525	1,941	83.5	17.6	18.9	13.1	28.1	12.0	13.0	50.0	42.8	12.0		
愛知県	22	3,570	1,859	84.2	19.1	13.8	12.0	36.2	6.8	11.4	47.2	41.4	8.0		
三重県	23	3,664	3,377	84.2	19.1	17.8	12.9	33.8	8.3	12.8	51.5	45.0	10.2		
滋賀県	24	3,645	5,471	87.1	23.8	19.2	16.5	41.2	8.7	13.6	64.3	47.4	11.1		
京都府	25	3,242	1,662	82.0	19.3	13.2	13.0	37.2	5.8	11.6	50.1	42.6	10.1		
大阪府	26	3,577	1,224	87.4	19.5	16.8	12.7	40.4	10.1	12.9	55.9	49.3	12.4		
兵庫県	27	3,254	2,356	85.4	18.7	22.4	15.3	38.0	10.8	14.3	53.2	45.2	12.6		
奈良県	28	3,307	7,840	85.7	21.6	15.9	16.9	40.6	8.8	11.9	53.4	47.6	10.2		
和歌山県	29	4,748	4,981	85.6	22.2	18.8	15.0	36.5	9.9	11.9	53.0	45.6	10.4		
徳島県	30	3,602	1,263	87.0	20.1	20.6	15.7	41.5	10.1	13.4	55.3	47.5	11.5		
香川県	31	3,343	915	81.4	18.2	11.9	6.6	31.7	6.7	9.9	46.3	40.3	9.2		
愛媛県	32	3,982	532	82.8	18.4	21.4	11.4	27.0	7.8	11.7	45.9	40.0	10.2		
高知県	33	3,831	851	79.7	16.8	19.8	11.4	23.7	7.4	8.7	43.4	35.9	9.3		
福岡県	34	3,277	1,724	83.0	18.7	16.9	11.2	32.2	7.8	10.6	47.7	42.7	10.0		
佐賀県	35	3,300	2,636	85.7	21.4	20.4	11.8	38.6	9.7	12.3	50.1	44.8	9.9		
熊本県	36	3,150	1,310	83.7	17.1	18.2	9.8	33.3	6.3	10.3	46.9	41.6	10.3		
鹿児島県	37	3,859	712	60.7	17.2	13.5	10.5	32.9	7.1	8.3	44.1	40.7	8.7		
沖縄県	38	3,249	888	82.1	17.5	17.7	10.9	34.1	8.5	10.5	47.1	41.6	9.5		
北海道	39	3,081	1,292	81.3	16.7	15.5	9.8	31.4	7.6	9.6	47.8	40.8	9.5		
青森県	40	2,993	687	78.4	16.0	18.0	9.2	30.0	6.2	9.1	42.1	38.7	7.5		
岩手県	41	4,124	4,454	84.3	28.0	18.4	13.9	38.0	8.5	12.0	61.2	46.5	9.0		
宮城県	42	3,597	781	81.0	28.6	12.5	11.0	32.2	6.8	10.2	44.3	40.2	8.1		
茨城県	43	3,387	1,279	79.7	19.0	16.3	10.1	26.8	7.0	11.1	43.9	37.5	7.6		
栃木県	44	3,515	1,808	80.8	19.9	13.8	10.8	34.1	6.5	10.1	45.2	41.2	8.4		
群馬県	45	3,317	1,061	81.0	22.0	12.0	11.3	30.4	7.0	9.7	44.3	38.9	8.6		
埼玉県	46	3,211	1,068	81.9	20.8	14.9	11.7	27.6	8.8	10.3	47.7	42.9	9.7		
千葉県	47	2,885	1,535	82.6	20.0	14.7	11.2	25.8	6.8	10.0	48.5	40.0	10.2		
東京都	48	3,243	1,170	78.4	18.5	8.3	12.3	35.6	6.2	8.8	48.6	45.8	10.6		
新潟県	1	1.9	3.0	2.2	1.8	4.5	2.6	1.9	7.0	10.9	17.4	23.2	10.3		
北海道	2	1.8	2.8	2.0	2.0	4.2	2.0	1.8	8.1	12.8	16.9	27.5	9.7		
青森県	3	1.0	2.0	2.1	1.3	3.4	1.7	1.5	6.2	10.0	13.9	25.0	10.4		
岩手県	4	1.6	2.9	3.9	1.2	3.6	2.1	1.7	7.1	11.3	16.6	29.8	10.6		
宮城県	5	2.3	3.2	2.8	1.2	4.8	2.4	1.7	8.4	11.6	17.8	30.5	11.2		
秋田県	6	1.1	2.6	1.8	1.5	3.2	1.5	1.6	7.3	9.5	15.0	27.9	10.2		
山形県	7	1.3	2.8	2.3	1.7	3.8	2.4	1.5	5.7	9.1	17.3	28.0	9.9		
福島県	8	1.7	2.5	2.2	1.1	3.9	1.9	1.6	6.0	9.8	15.0	27.0	9.3		
茨城県	9	1.3	2.5	2.0	2.0	4.4	2.9	1.4	6.7	9.1	17.0	31.8	10.5		
栃木県	10	2.1	2.7	1.5	1.5	4.4	2.6	1.6	6.7	10.1	16.8	31.5	10.7		
群馬県	11	1.8	3.2	2.5	2.1	4.9	2.3	1.8	7.2	11.0	16.8	32.1	10.5		
埼玉県	12	1.7	3.5	2.3	2.0	4.6	2.5	1.5	7.3	11.1	18.6	29.8	10.1		
千葉県	13	2.0	3.3	2.2	2.3	4.2	2.1	1.6	6.8	11.1	17.5	30.7	10.3		
東京都	14	2.4	3.9	2.3	2.4	4.4	2.6	1.9	7.3	11.6	18.6	25.6	9.6		
神奈川県	15	2.4	3.6	2.0	2.6	4.0	2.6	1.9	8.4	12.4	20.1	29.2	11.2		
新潟県	16	1.1	2.6	2.2	1.6	4.4	2.1	1.5	8.6	9.2	15.7	26.8	9.9		
富山県	17	1.8	2.7	2.2	1.0	5.0	3.3	2.5	5.5	10.0	15.4	28.2	10.4		
石川県	18	2.4	2.1	2.3	1.3	4.0	4.0	3.1	6.5	9.8	15.8	30.0	10.1		
福井県	19	1.7	3.0	2.6	1.6	4.7	3.2	2.3	6.1	8.9	16.4	26.4	10.7		
岐阜県	20	1.8	3.2	2.2	1.5	5.7	2.6	1.5	6.2	10.1	17.0	31.1	11.0		
静岡県	21	1.4	3.9	2.0	1.2	4.0	2.7	1.9	6.8	11.9	18.8	32.1	10.7		
愛知県	22	1.6	2.2	1.9	1.8	4.2	3.0	2.3	5.7	9.5	16.9	29.2	11.3		
三重県	23	1.9	3.2	1.9	1.5	4.3	2.5	1.9	6.9	10.3	16.5	29.7	10.9		
滋賀県	24	2.3	3.0	2.3	1.6	5.4	3.2	2.6	7.3	10.6	17.4	27.7	9.9		
京都府	25	1.5	2.7	3.0	1.3	4.1	3.0	1.8	6.2	9.6	16.3	29.1	10.0		
大阪府	26	2.0	3.4	1.4	1.3	5.5	3.7	1.9	7.2	12.3	20.6	31.3	12.1		
兵庫県	27	1.8	3.4	1.7	2.2	5.5	3.5	2.9	7.7	12.1	18.2	27.4	11.5		
奈良県	28	1.8	3.1	2.0	2.0	4.4	2.4	2.1	6.8	10.7	16.9	23.2	9.4		
和歌山県	29	1.8	3.4	2.2	1.5	5.8	2.7	1.8	7.1	13.0	18.3	26.5	9.9		
徳島県	30	2.3	3.9	1.6	1.7	5.2	3.2	2.2	6.9	11.5	19.6	32.5	10.8		
香川県	31	1.7	2.1	1.9	1.0	4.1	2.5	1.6	5.8	10.3	14.6	29.5	11.9		
愛媛県	32	1.5	2.4	2.8	0.7	4.7	3.7	2.3	6.6	10.4	16.7	30.7	10.9		
高知県	33	2.0	2.7	2.8	0.7	4.4	3.6	2.2	6.3	9.9	15.6	28.5	10.4		
福岡県	34	1.8	2.0	1.9	0.9	4.5	3.4	2.6	6.5	10.8	16.7	31.2	10.7		
佐賀県	35	1.9	3.0	1.9	1.2	4.3	2.8	2.2	6.7	11.7	16.9	28.3	10.1		
熊本県	36	1.7	3.0	1.6	1.2	4.2	3.1	2.4	8.0	11.1	17.4	32.4	11.9		
鹿児島県	37	2.1	2.1	2.9	1.0	5.1	3.2	1.6	5.0	8.5	15.1	29.5	9.8		
沖縄県	38	1.6	2.6	1.5	0.9	4.8	3.7	2.2	5.1	10.8	14.8	30.5	9.7		
北海道	39	1.5	2.7	1.7	1.0	4.6	2.3	1.8	7.2	10.4	17.1	31.9	11.0		
青森県	40	1.1	2.0	1.7	1.1	3.6	2.3	1.5	6.0	8.2	12.8	27.2	10.0		
岩手県	41	1.7	2.1	1.7	1.5	4.3	2.6	1.7	8.6	10.1	17.3	25.3	9.8		
宮城県	42	2.1	2.2	2.8	1.3	5.0	2.8	1.8	5.2	8.1	14.8	27.8	9.7		
茨城県	43	1.3	2.6	2.2	1.2	4.8	2.1	1.3	6.3	10.6	14.7	28.2	9.6		
栃木県	44	1.5	2.7	2.7	2.0	4.9	2.5	1.5	6.1	9.0	16.8	28.9	10.9		
群馬県	45	1.8	2.0	2.0	1.1	4.5	2.7	1.4	5.2	9.1	16.3	28.1	8.5		
埼玉県	46	1.7	2.5	3.1	1.1	4.6	1.7	0.8	6.3	9.9	18.8	30.6	11.4		
千葉県	47	1.8	2.3	3.0	1.2	4.7	2.4	0.9	5.5	10.1	18.6	33.3	11.8		
東京都	48	3.4	2.1	3.7	1.8	3.2	1.0	0.8	5.4	8.1	14.4	21.9	12.8		

地域	行動者率(%)											その他		
	絵画・彫刻の制作	陶芸・工芸	写真・ビデオ・プリント	詩・和歌・俳句・小説などの創作	趣味としての読書	囲碁	将棋	パチンコ	カラオケ	テレビゲーム、パソコンゲーム(家庭で使用するものを含む)	遊園地、水族館、博物館などの見物		キャンプ	
全国	1	3.6	2.5	27.3	2.6	41.9	1.8	3.9	11.8	31.8	33.0	34.5	6.3	10.6
北海道	2	2.7	2.7	24.3	2.4	40.9	2.0	4.1	13.4	31.2	35.4	32.2	11.4	9.3
青森県	3	1.7	1.4	18.6	1.6	32.4	1.4	2.8	10.9	24.2	25.9	22.3	6.4	10.3
岩手県	4	2.0	1.7	20.8	1.7	34.6	1.8	3.7	12.7	23.8	27.6	23.2	5.2	8.1
宮城県	5	2.7	3.0	25.8	3.0	40.4	1.8	4.3	13.9	32.6	32.3	28.8	5.7	11.5
秋田県	6	1.8	1.6	18.2	2.1	33.6	2.1	3.6	11.7	23.8	25.8	27.2	4.6	8.7
山形県	7	2.4	2.0	22.0	2.3	34.4	1.4	3.3	9.8	26.6	25.9	25.8	4.7	9.6
福島県	8	2.8	2.1	22.2	3.0	34.2	1.0	3.5	13.5	27.8	28.9	26.9	5.6	10.9
茨城県	9	3.3	3.2	24.7	2.2	37.1	1.4	4.1	11.6	30.8	32.1	34.2	4.9	10.3
栃木県	10	2.8	2.6	26.7	2.5	38.9	1.0	3.9	11.3	30.9	31.0	35.7	4.5	8.6
群馬県	11	3.7	2.9	27.1	2.7	39.5	1.1	3.2	10.9	31.7	31.6	34.0	3.3	10.9
埼玉県	12	3.5	2.3	30.5	2.6	45.4	1.5	3.6	10.4	34.1	35.4	39.6	5.4	10.8
千葉県	13	3.7	3.0	30.0	2.7	46.6	2.4	4.3	10.4	33.8	35.3	39.5	4.3	11.2
東京都	14	4.6	3.1	34.5	3.2	52.0	1.9	3.7	9.8	36.3	35.8	42.1	6.5	12.6
神奈川県	15	5.2	3.3	34.1	2.7	50.8	2.5	4.8	10.2	36.4	37.2	43.0	8.0	12.4
新潟県	16	2.6	1.4	20.7	1.8	36.2	1.4	3.7	10.3	27.6	28.7	27.5	4.3	9.1
富山県	17	2.6	2.5	22.4	1.9	36.9	1.8	4.4	11.8	27.3	29.5	31.3	3.6	8.1
石川県	18	3.2	2.3	24.1	2.5	37.8	1.7	3.5	13.8	29.1	33.1	34.1	4.3	9.6
福井県	19	2.6	2.6	23.6	2.7	36.0	1.7	3.8	14.5	30.1	31.7	30.2	5.3	10.9
山梨県	20	3.8	2.7	24.6	3.1	37.2	2.3	3.7	11.8	29.7	30.5	32.7	5.3	8.9
長野県	21	3.8	2.9	25.1	3.0	40.3	1.8	3.7	10.6	30.8	30.7	31.8	5.4	11.3
岐阜県	22	3.2	2.0	24.2	2.2	35.1	1.5	3.1	13.5	27.9	32.5	31.9	5.7	8.2
静岡県	23	3.7	2.7	26.6	2.5	39.9	1.4	2.8	13.1	30.5	32.7	38.1	5.6	8.6
愛知県	24	3.3	2.9	30.0	2.5	40.1	1.7	3.9	15.3	31.8	37.4	41.0	7.5	11.9
三重県	25	3.2	2.1	25.4	2.6	38.3	1.9	3.2	13.2	29.6	33.2	33.0	5.2	10.5
滋賀県	26	4.0	2.8	30.0	2.7	42.5	1.1	4.0	11.5	33.9	36.4	36.1	6.9	10.8
京都府	27	4.4	2.7	29.4	2.6	45.2	1.9	3.9	11.3	33.6	34.6	34.4	6.3	12.7
大阪府	28	3.7	2.8	27.6	2.5	42.8	2.0	4.5	12.1	33.9	34.5	33.9	6.5	12.6
兵庫県	29	4.0	2.2	28.5	3.0	42.8	1.5	4.0	11.9	32.2	32.8	33.4	6.4	11.1
奈良県	30	3.9	2.6	30.0	2.7	45.2	1.7	4.0	8.7	34.3	34.3	34.9	7.1	12.1
和歌山県	31	2.6	1.8	21.9	2.4	34.6	1.3	3.7	10.6	29.4	28.7	29.5	6.1	8.9
鳥取県	32	3.3	2.3	21.9	2.2	37.5	1.8	3.5	12.6	26.1	29.2	28.4	4.7	9.1
島根県	33	2.4	2.2	20.1	2.2	35.2	2.7	3.8	11.4	24.7	25.4	26.3	4.0	6.2
岡山県	34	3.9	2.3	28.4	3.2	39.2	2.3	5.0	11.7	27.4	31.3	29.9	5.5	8.5
広島県	35	3.4	2.4	25.7	1.8	40.2	1.9	3.3	11.1	28.4	32.5	31.5	7.1	10.3
山口県	36	3.2	2.1	25.6	2.7	39.7	2.1	4.1	12.2	28.8	30.0	32.9	5.5	9.2
徳島県	37	2.7	2.0	26.8	2.7	35.8	1.8	4.1	12.4	29.6	27.6	27.7	5.0	8.9
香川県	38	2.7	1.9	22.9	2.7	39.7	1.5	3.8	11.3	25.7	30.2	28.6	6.0	8.5
愛媛県	39	2.4	2.1	23.9	3.2	37.2	1.5	3.2	12.7	28.0	29.9	26.5	4.7	8.8
高知県	40	2.3	1.6	19.1	2.3	33.4	1.5	3.5	12.9	24.2	24.1	24.7	7.3	9.7
福岡県	41	3.4	1.8	26.0	2.2	40.1	1.9	3.9	13.9	33.3	32.0	31.6	7.0	8.1
佐賀県	42	2.3	1.8	17.9	2.0	32.8	1.6	2.8	13.1	28.3	27.7	25.4	4.7	7.2
熊本県	43	2.4	1.6	21.4	2.2	36.2	1.6	3.5	12.8	25.9	26.9	24.3	4.5	6.1
大分県	44	3.4	2.4	22.1	2.6	34.3	1.3	4.1	13.9	29.4	28.4	26.9	7.6	8.7
宮崎県	45	2.7	1.5	21.0	2.4	32.6	1.8	3.3	12.8	27.8	28.2	28.4	6.0	9.2
鹿児島県	46	2.3	2.1	22.2	2.1	37.7	1.5	4.7	14.6	31.1	26.6	28.7	7.1	5.5
沖縄県	47	4.0	2.9	24.9	2.1	37.2	1.5	3.8	15.4	30.4	28.4	29.8	6.2	6.1
沖縄県	48	1.8	1.4	19.9	1.9	32.9	1.8	3.9	5.0	34.0	24.1	28.9	8.6	9.5

平成18年「社会生活基本調査」都道府県、趣味、娯楽の種類別行動者

平成18年	社会生活基本調査	調査対象	全国約8万世帯のふだん住んでいる10歳以上の世帯員（第1次抽出単位を平成12年調査の調査区とし、第2次抽出単位を世帯とする層化段抽出法）
		調査期日	平成18年10月20日（5年ごと）
		調査方法	調査員による調査票の配布及び収集

Ⅲ 年次報告のまとめ（文化芸術振興審議会意見）

1 県民の文化芸術活動の充実について

県民の文化芸術の鑑賞機会については、これまで県立文化施設における公演事業や展示会の実施、文化芸術に関する講座や講演会の開催などにより、幅広いジャンルの多彩なプログラムが提供されてきました。こうした中、平成23年1月には、県の文化芸術の広域拠点機能を担う神奈川芸術劇場<KAAT>が開館しました。

神奈川芸術劇場<KAAT>は、舞台芸術専用の創造型劇場として、演劇、ミュージカル、ダンスなどの舞台芸術作品を創造・発信し、県民に質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供していくとともに、舞台技術者やアートマネジメント人材など文化芸術に携わる人材の育成などを行います。これらのことにより、県民自らが行う文化芸術活動を支える環境がより整備されていくことが期待されます。

2 文化資源を活用した地域づくりの推進について

県内では、文化資源を活用した地域イベントとの連携や地域の経済活動との連携、また学校との連携など、魅力ある地域づくりに向けた様々な取り組みを入れる整理が行われてきました。

県内の各地域には、博物館、美術館等の文化施設や歴史的建造物などの文化資源（ハード）と、音楽、ダンス・舞踊等舞台芸術や伝統芸能などの文化資源（ソフト）が豊富にあり、それぞれの地域で特色ある施設運営や文化芸術活動を展開しています。

これら地域に存在する文化資源を活用し、また地域固有の自然景観や歴史的景観、都市景観など潜在的な資源とも関連づけることで、各地域での生活が彩り豊かになり、個性豊かで活力に満ちた地域社会の発展につながります。

「かながわ文化芸術振興計画」では、文化芸術に関する地域間交流、国際交流、多文化理解に取り組むことや創造的活動が推進されるための環境の整備、文化資源に関する情報の収集や発信などを、文化資源を活用した地域づくりの推進に必要なこととしています。

新たな文化資源として始動した神奈川芸術劇場<KAAT>では、オープニングラインナップとして多彩な舞台芸術作品等を創造・発信し創造的活動の推進に取り組むとともに、神奈川らしい舞台芸術作品の鑑賞機会を県民に提供しています。あわせて、これまで東京で開催されていた「国際舞台芸術ミーティング（TPAM）」が、初めて横浜で開催され、県民ホール（本館・神奈川芸術劇場<KAAT>）を主要会場として、国内外から多くの人々が地域に集い、交流するなど広域的な賑わいの創出に努めることで、神奈川芸術劇場<KAAT>を中心とした地域の新たな魅力が向上しています。これらのことを踏まえて、今後、神奈川芸術劇場<KAAT>には、舞台芸術専用の高機能な施設として、県域ネットワークを形成することで、他文化施設（県内および横浜市等各自自治体文化施設）との連携や交流をより深めながら、地域の賑わいを創出する核となり、県の文化芸術の拠点機能を担う役割を果たしていくことが望まれます。

3 文化芸術の振興を図るための環境整備

県立文化施設は、公演の実施や作品等の展示など文化芸術の鑑賞機会を提供することが主な役割とされてきましたが、さらにアートマネジメント、アーティスト、鑑賞者など文化芸術人材の育成や教育普及活動などについても取り組みが必要となっています。こうした取り組みにより、県民の多様化・高度化するニーズに応えられる人材の層を膨らませていくことが求められています。

また、県民を主体とした文化芸術活動をこれまで以上に充実させていくためには、様々な主体による文化芸術活動の支援が不可欠です。社会の様々な場面で募金活動が行われている状況にかんがみて、これら文化芸術事業についての関心を高めることで、寄付活動が容易となる環境を整備することも有効な手段であると考えられます。併せて、支援を受ける者自らが活動内容を明らかにし、支援を働きかけていくことも必要とされるところであります。このような支援を受ける者と支援する者との橋渡しの方策についての検討を進める必要があります。

4 まとめ

文化芸術は、人間に生きる喜びを与え、人間相互の連帯感を生み出し、共に生きる社会の基盤を形成するものであります。しかし、データの経年比較をみると、現在の厳しい財政・経済状況を反映して、各分野の事業実施数の減少が見受けられます。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、伝統的な行事や公演の中止など文化芸術活動に大きな影響を及ぼしました。今も日本中が復興に向け、力を合わせて取り組んでおり、こうした時期だからこそ、文化芸術活動により、私たちひとりひとりが心にやすらぎと元気を取り戻し、明日への力と繋げていく必要があります。

「平成22年度県民ニーズ調査」では、文化や芸術を鑑賞したり活動に参加できる場が身近に整っていることを重要であると考えている人は53.2%であるものの、満たされていると考えている人は21.9%にとどまっているにすぎません。こうしたことから、県民が等しく文化芸術を鑑賞し、参加し、創造することができるよう、魅力ある事業の創出とさらなる環境の整備を進めていく必要があります。

県の文化芸術の広域拠点機能を担うKAATをはじめ、県立文化施設や地域の文化資源を活用し、地域の伝統文化の維持・継承及び広く文化芸術に親しむ環境整備等により、「真にゆとりと潤いの実感できる心豊かな県民生活の実現」と「個性豊かで活力に満ちた地域社会の発展」を目指していくことが望まれます。